

山武市 まちづくり報告書

～第2次山武市総合計画の進行管理～

海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武



令和4年度実績

目 次

1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方

- (1)山武市まちづくり報告書とは…………… 1
- (2)総合計画と行政評価…………… 1
- (3)行政評価による総合計画の進行管理…………… 2

2. まちの経営動向

- (1)人口の推移 …………… 3
- (2)歳出決算額の推移（普通会計）…………… 3

3. 総合計画の評価概要（令和4年度）

- (1)まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）…………… 4
- (2)政策別のまちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）…………… 5

4. 学識経験を有する者の知見…………… 7

5. 総合計画の体系図……………14

6. 施策の進み具合の報告

- (1)評価結果の見方……………16

(2)施策・基本事業評価結果

- 1 暮らしを支える快適なまちづくり……………17
- 2 住みやすい環境と安全なまちづくり……………31
- 3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり……………53
- 4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり……………67
- 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり……………89
- 6 市民と行政が協働してつくるまちづくり……………107

1. 山武市まちづくり報告書の基本的考え方

(1) 山武市まちづくり報告書とは

「第2次山武市総合計画（令和元～4年度）」は、4年後の山武市のめざす姿を定めたまちづくりの指針となるものです。（図①参照）

この総合計画では、分野別にめざす姿（目標）を設定しており、定期的にその成果（数値）を把握することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを評価しています。

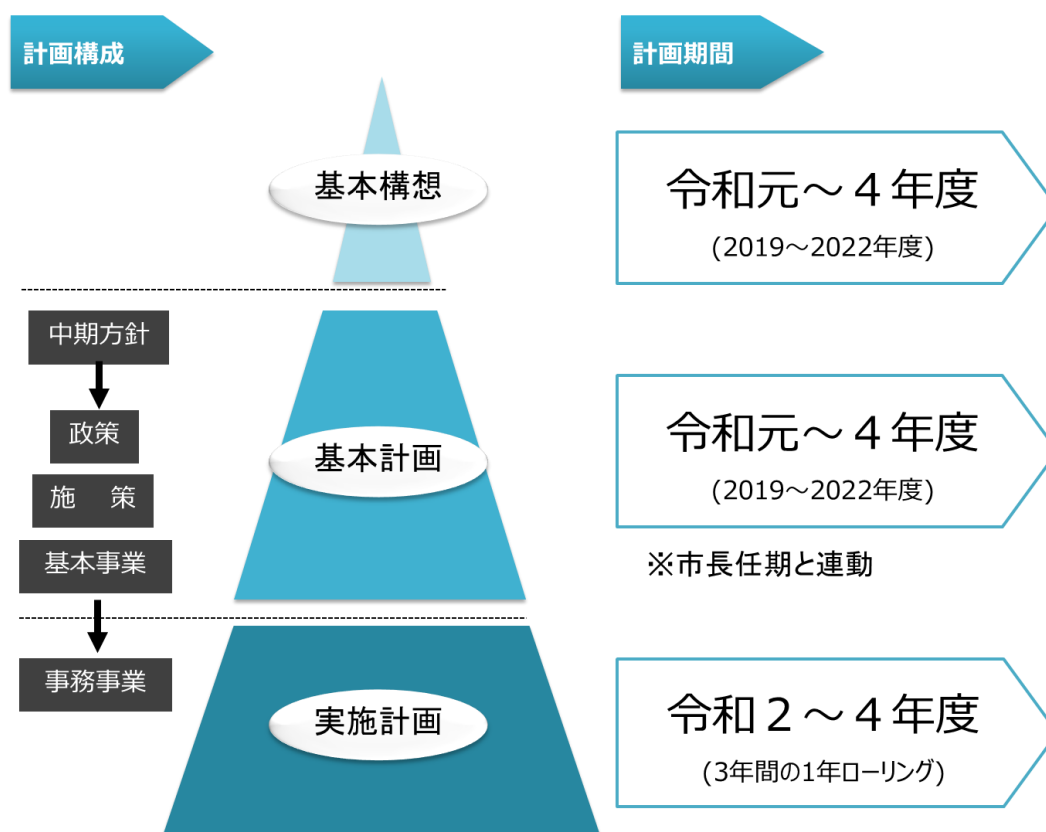
この「まちづくり報告書」は、現在までのまちづくりの取組状況（目標の推進状況、達成状況）をまとめ、みなさまにお知らせするものです。

(2) 総合計画と行政評価

第2次山武市総合計画では、基本構想は山武市のまちづくりの普遍的な方向性を示しています。また、基本構想の状況を示すまちづくり指標を設定し、基本計画終了時に確認を行うこととしています。

そのため、基本計画に6つの政策を掲げ、それぞれの政策ごとに取組の方針を定めています。6つの政策の下には、24の「施策」と108の「基本事業」が位置付けられ、さらに「基本事業」を実現する最も具体的な手段としての「事務事業」があり、総合計画の体系を構築しています。（図①参照）

図① 総合計画の体系



また、取組を進めていく中で、ヒト、モノ、カネといった限られた経営資源を有効に活用するとともに、みなさまに分かりやすい行財政運営を行うひとつの方策として、本市では「行政評価」の考え方を導入しています。

(3) 行政評価による総合計画の進行管理

山武市では総合計画の進行管理のために、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）のサイクルを活用した行政評価の考え方を取り入れ、目標年次に向けた総合計画の進行管理を行い、成果の向上を図ります。（図②参照）

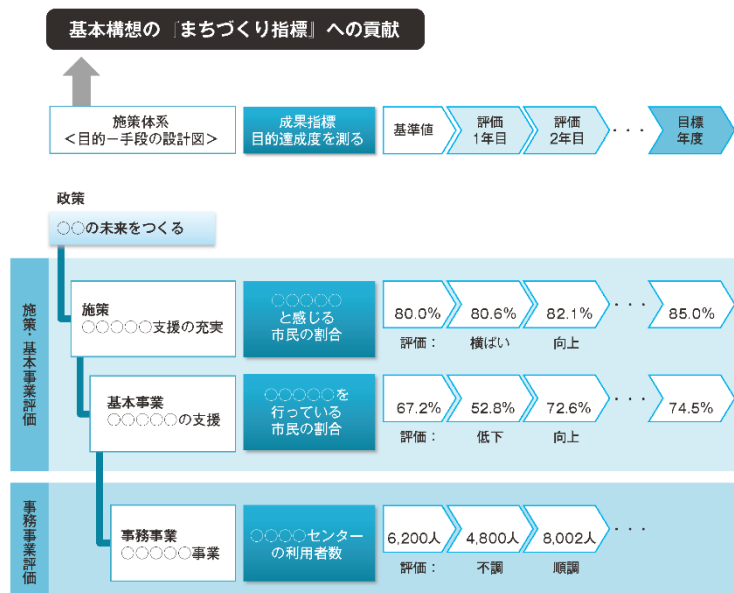
行政評価の考え方を取り入れた第2次山武市総合計画では、「施策」と「基本事業」にそれぞれ「めざす姿」を掲げ、その「めざす姿」の達成度を数値で表すモノサシとして「成果指標」を設定し、計画の最終年次である令和4年度に、達成すべき目標値を定めています。

総合計画の進行管理を行ううえで、毎年「施策」、「基本事業」の成果を評価し、目標に向かって遅れが出ている項目については、現状を把握し、なぜ数値が伸びていないのかというような原因を分析し、事業の見直しを検討、実施することで目標の達成を目指します。（図③参照）

図② 総合計画の進行管理



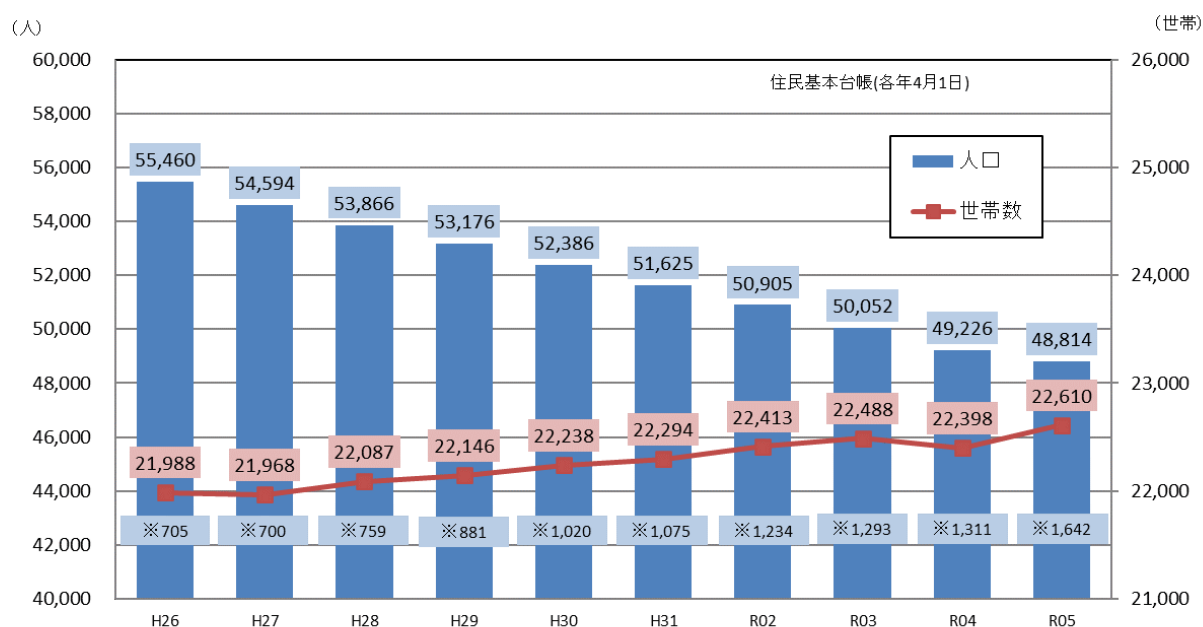
図③ 成果指標に基づく進行管理



2. まちの経営動向

(1) 人口の推移

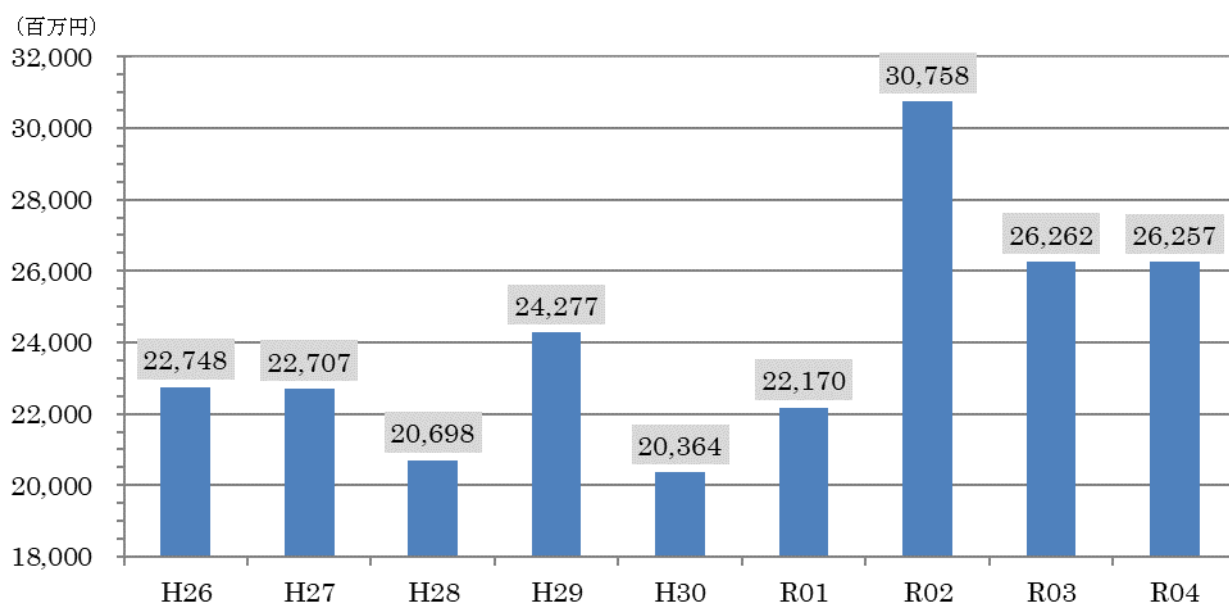
人口は減少傾向が続いています。これは、主に若い世代が流出する「社会減」と出生率の低下による「自然減」が大きく影響しています。なお、山武市の高齢化率は令和4年度の36.5%から令和5年度は37.0%と増加しています。一方で世帯数は、増加傾向が続いていることから核家族化等が進んでいるものと推察できます。



※住基法改正により 25 年度から外国人も含みます。

(2) 歳出決算額の推移 (普通会計)

令和4年度の歳出については、昨年度と比較して5百万円減の262億5千7百万円となりました。主な事業内容は、松尾小学校新校舎整備事業、地域応援クーポン券事業、子育て世帯応援給付金支給事業などの実施となっています。



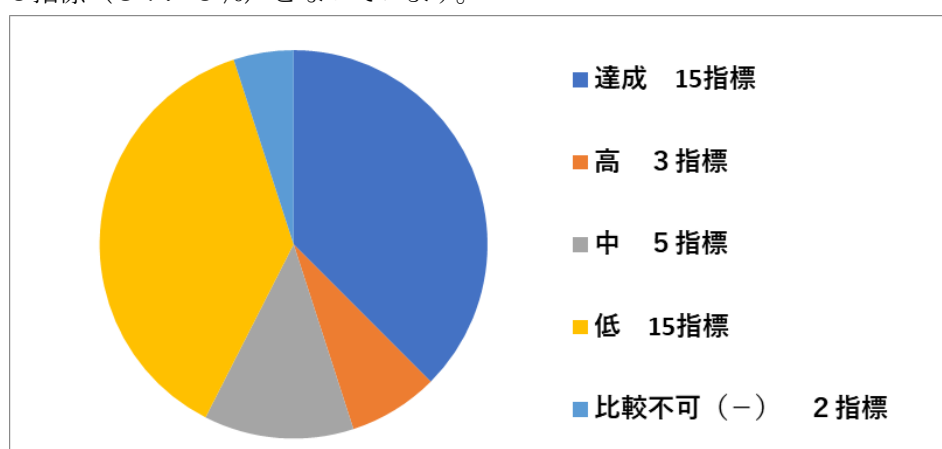
3. 総合計画の評価概要（令和4年度）

（1）まちづくりの進捗状況（成果指標値の推移）

山武市総合計画で設定された247の成果指標の進捗状況は下記のとおりとなっています。

① 施策の成果指標動向【24施策40指標】

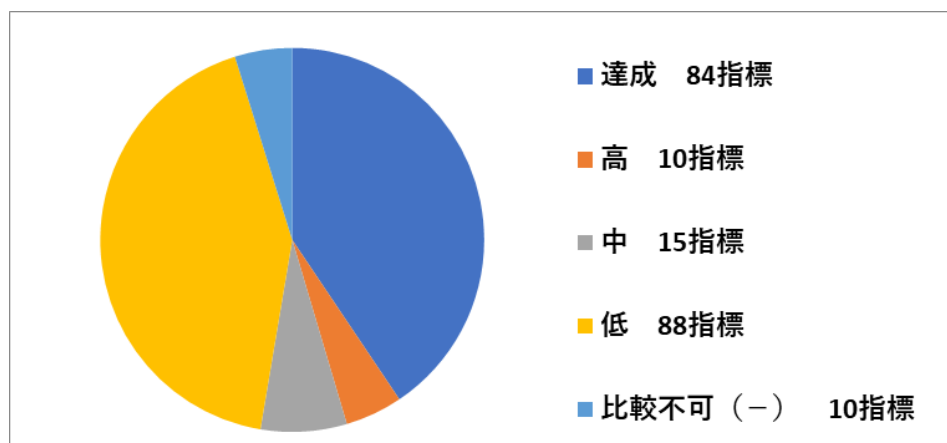
24施策の成果として設定されている40の成果指標について、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）は18指標（45.0%）となっています。維持・横ばいのもの（評価区分「中」）が5指標（12.5%）、計画開始当初よりも低下したもの（評価区分「低」）が15指標（37.5%）となっています。



② 基本事業の成果指標動向【108基本事業207指標】

24施策の成果（前述の40成果指標）を向上させるための手段として、施策体系に位置付けられている108の基本事業の成果を示すものとして207の成果指標が設定されています。

それらの指標の動向として、成果が向上し、めざそう値に対して概ね順調な成果を上げていると評価したもの（評価区分「達成」「高」）が94指標（45.4%）、維持・横ばいのもの（評価区分「中」）が15指標（7.2%）、計画当初よりも低下したもの（評価区分「低」）が88指標（42.5%）となっています。



※比較不可…主に国、県等の統計データの実施年度が隔年や5年毎等で成果指標の実績値を毎年把握することができず、令和4年度の評価として進捗を検討できないものを指します。

(2) 政策別のまちづくりの進捗状況(成果指標値の推移)

① 施策の成果指標動向【24施策40指標】

6つの政策	成果指標の動向					☐ 目標達成、概ね順調な主な指標 ☒ 維持・横ばい、計画開始当初より低下した指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	2	1	0	0	0	☐ 都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度 ☐ 公共交通網の満足度 ☐ 災害被災戸数(火災含む)
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	6	0	1	2	0	☐ 航空機騒音を不快に感じる市民の割合 ☐ 自然環境の満足度 ☐ 人口1,000人当たりの交通事故発生件数 ☒ 生活環境に関する苦情件数
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	2	0	0	3	0	☐ 森林整備年間実施面積(累計) ☐ 法人市民税額 ☒ 年間宿泊観光客数 ☒ 年間観光客入込数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	2	2	0	4	2	☐ 介護保険サービスの満足度 ☐ 健康だと思う市民割合 ☒ 65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合 ☒ 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	3	0	0	3	0	☐ 学校生活に満足している生徒の割合 ☐ 人権が尊重されているまちだと思う市民の割合 ☒ 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的) ☒ あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	0	0	4	3	0	☒ 市民活動(地域活動)に参加している市民の割合 ☒ NPO・ボランティア活動をしている市民割合 ☒ 山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合 ☒ 施策の目標達成率

②基本事業の成果指標動向【108基本事業207指標】

6つの政策	成果指標の動向					☐ 目標達成、概ね順調な主な指標 ☒ 維持・横ばい、計画開始当初より低下した指標
	達成	高	中	低	—	
1 暮らしを支える快適なまちづくり	13	3	0	9	0	☐ 駅周辺の利便性に対する満足度 ☐ 市内移動の交通手段に困っている市民の割合 ☐ 地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率 ☒ 成田空港方面への1日当たりのバス利用者数
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	22	1	3	14	0	☐ 空地の管理（雑草等）苦情件数 ☐ 市の事務事業により発生する二酸化炭素の量 ☐ 1ヶ月当たりの交通安全啓発回数 ☒ ごみ排出指導件数
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	8	2	3	10	2	☐ 農地中間管理集積面積 ☐ 市内従業者数 ☒ 青年等就農計画認定者数 ☒ 観光施設（海水浴場）の利用者数
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	18	3	2	17	4	☐ 自立支援給付サービスの利用者数 ☐ 地域医療体制の充足度 ☒ 生きがいを持っている高齢者の割合 ☒ 就学前保育・教育に関する保護者の満足度
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	10	1	3	21	2	☐ 学力の向上が見られる児童の割合 ☐ 授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合 ☒ 市主催の芸術文化事業への参加者数 ☒ 審議会などに女性委員が登用されている割合
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり	13	0	4	17	2	☐ 広報紙を読んでいる市民の割合 ☐ 窓口サービスの満足度 ☒ 市民活動に意欲的な市民割合 ☒ 経常収支比率

4. 学識経験を有する者の知見

慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員
金子 光

1. 山武市の総合計画と行政評価

(1) 山武市の総合計画

山武市の総合計画は市の最重要計画として6つの政策から構成されており、それぞれの政策で明確な目的が掲げられている。今回評価を行う総合計画は、令和元年度から令和4年度までを計画期間とし、「海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり」「成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり」「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」を進めるために6つの政策、その下に24の施策・108の基本事業・約1,000の事務事業が存在している。それぞれが上位の目的を達成するための手段という関係が成り立っており、政策－施策－基本事業という政策体系の明示化により政策目的と手段の明確化・体系化が図られている。

(2) 山武市の行政評価

山武市の行政評価制度は施策・基本事業の達成度を評価する制度であり、目的としては以下の6つが挙げられる。

- ①総合計画に基づいた成果重視の事業実施を行う
- ②行政資源の効率的配分とその効率的活用を可能とする基準づくり
- ③職員の意識改革を促進し、コスト意識・マネジメント意識を醸成する
- ④市民への説明責任を果たす
- ⑤総合計画の策定とそれに伴う進捗状況（達成度）を評価し、次の計画に生かす
- ⑥不要な事業、無駄な事業を削減・縮小・廃止する

評価の実施方法としては、施策と基本事業について内部評価が行われており、令和5年度は令和元年度から始まった第2次山武市総合計画の計画最終年である4年目の評価にあたる。

施策・基本事業の評価結果は、「まちづくり報告書」を通して市民に情報を公開し説明責任を果たしている。

2. 「まちづくり報告書」の特徴

(1) グラフによるトレンドの把握

それぞれの指標についてグラフが記載されており、その中で基準値とめざそう値が設定されておりトレンドが分かる。

(2) <原因>における分析

グラフから現状を把握した上で、評価のなかで<状況>と<原因>が書かれ分析が行われている。

(3) 市民生活との関連

基本事業の記述については市民生活に直結するものが取り上げられている。

(4) アウトカム指標の活用

アウトカム指標はまちづくりアンケートの結果や統計データ、業務取得データなど、その施策の目的・意図に貢献したかどうかを検討しながら設定されている。

(5) 次年度へのフィードバック

行政サービスを市民のニーズに合わせて効果的・効率的に提供していくために、行政サービスの分野ごとに目標と達成度を示す指標を定めデータに基づく客観的な評価を行っている。そして、評価の結果を次年度の計画に活用しようと取り組んでいる。

3. 「学識経験を有する者の知見」のフィードバック

令和4年度の「学識経験を有する者の知見」の内容を踏まえて、令和5年度の評価方法に変化が見られる。

(1) 政策 05 施策 01 「学校教育の充実」

<令和4年度における提言>

「学校生活に満足している生徒の割合」について、令和3年度のまちづくり報告書において基準値を下回った要因を分析している。一方、令和4年度においては、満足度が減少しているにもかかわらず、その要因については記述がない。客観的な状況を把握したうえで、要因を分析することが望ましい。

<令和5年度の評価>

満足度が変化した要因を分析し記述されるようになった。

(2) 政策 05 施策 01 基本事業 01 「『確かな学力』の向上と『活きた学力』の推進」

<令和4年度における提言>

「基本事業成果指標」の「学力の向上が見られる児童の割合」について、令和3年度と令和4年度のまちづくり報告書において、数値はほぼ同じであるが、原因は違う記述となっている。2年間で何が変わり、何が変わらなかったのか、それが数値に与えた影響を分析することが求められる。それにより、今後の具体的な対策が明確になる。

<令和5年度の評価>

数値が変化した要因を分析し記述されるようになった。

4. 「まちづくり報告書」の各項目の内容と課題

(1) 「施策のプロフィール」

- ① 「施策の対象」が書かれており、それぞれの施策について誰のために実施しているかが明らかになっている。
- ② 「施策の意図」が書かれており、一つひとつの施策について、市民が市の目標や方向性をイメージできる。

(2) 施策・基本事業の「指標」について

山武市の成果指標は、上位から「施策」、「基本事業」、「事務事業」として構成される体系の各階層が目的と手段の関係になっている。「施策」や「基本事業」で定めた対象や意図に対し、成果達成度を分かりやすくする観点から指標を選択し、その進捗状況を具体的な数値で測っている。

(3) 施策・基本事業の「グラフ」について

- ① 指標について客観的なデータが示されており現状を把握できる。
- ② 前年度との比較で現状を把握できトレンドが分かる。

(4) グラフの「めざそう値」について

施策の成果指標の「めざそう値」を設定していることにより、山武市の未来に対する明確な目標が分かる。また、設定した基準も明確になっており、市民にとっても分かりやすい。

達成目標の設定は、Specific（具体的である）、Measurable（測定可能である）、Ambitious（意欲的である）、Realistic（現実的である）、Time bound（時宜を得ている）であることが望ましいが、山武市の「めざそう値」はこれらすべてを満たして

いる。Ambitious かつ Realistic な目標を設定することは難しいが、山武市の「めざそう値」は、これらを両立できる値に適切に設定されている。これにより市民も未来に対する目標や方向性を共有することができる。

(5)「評価」のなかの「原因」について

① 政策 01 施策 01 基本事業 04「駅周辺の利便性の向上」

「基本事業成果指標」の「駅周辺の利便性に対する満足度」において、めざそう値は達成したが、対前年度で減少している原因を分析することが望ましい。蓮沼地域の満足度が低い理由は何か、地域別の分析をしたうえで、必要な対策を講じることが望ましい。

② 政策 02 施策 04 基本事業 01「安定給水の確保」

「基本事業成果指標」の「漏水事故件数【広域水道】」において、「増設から 49 年が経過し、経年劣化による漏水が増加している」という記述がある。令和 4 年度のまちづくり報告書においても、「増設から 48 年が経過し、経年劣化による漏水が増加している」という同様の原因が記述されている。昨年度の状況を踏まえて、どのような対策を講じたのかを記述することが望ましい。

③ 政策 04 施策 04「子育ての支援」

「施策の成果指標」の「この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合」において、経済的支援を行っているにもかかわらず、割合が減少傾向にあるのは何故か分析することが望ましい。経済的支援以外の原因も複合的に考察し根本的原因を分析することが求められる。

④ 政策 04 施策 05「地域福祉の充実とセーフティネットの推進」

「施策の成果指標」の「生活保護率」において、めざそう値を達成しているが、増加傾向である原因を分析し、対策を講じることが望ましい。

⑤ 政策 05 施策 01「学校教育の充実」

「施策の成果指標」の「学校生活に満足している児童の割合」、「学校生活に満足している生徒の割合」において、新型コロナウイルスに関連した学校行事や部活動が主な要因となっている。学校行事や部活動以外のどのような要因によって満足度が変化しているのか項目ごとに分析することが望ましい。

⑥ 政策 05 施策 01 基本事業 03 「『豊かな心』を育む」

「基本事業成果指標」の「不登校生徒の割合」において、スクールカウンセラーの配置などが記述されているが、不登校生徒が増加している原因を特定する必要がある。

⑦ 政策 05 施策 02 基本事業 04 「芸術文化活動の充実」

「基本事業成果指標」の「芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合」においては、中止になっていた事業が再開されたことが挙げられている。一方で、「芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合」においては、新型コロナウイルス感染症予防対策により対象人数等を制限したことが記述されている。新型コロナウイルスによる影響とそれ以外の要因について、区別して分析することが望ましい。

⑧ 政策 05 施策 03 「スポーツの振興」

「施策の基本方針」において、「新型コロナウイルス感染対策による施設利用や大会に中止が生じている中で、市民の自主的な活動制限などもあり、運動意欲が低下している」と記載されている。一方で、「施策の成果指標」の「スポーツ活動に親しむ市民の割合」の＜原因＞において、「コロナ禍をきっかけに少人数で行うスポーツ活動等に親しむ市民の割合が増加していると考えられます」と記述されている。環境変化と課題の認識と原因分析は整合的であることが望ましい。

⑨ 政策 06 施策 02 基本事業 02 「広聴の充実」

「基本事業成果指標」の「市民の声が市政に届いていると思う市民の割合」において、「要望や苦情等が多く、市の施策や事務の改善に結びつけることができた意見・提案は少数であった」とあるが、手紙制度の目的や趣旨を再度、確認する必要がある。

⑩ 政策 06 施策 02 基本事業 03 「議会情報の公開の推進」

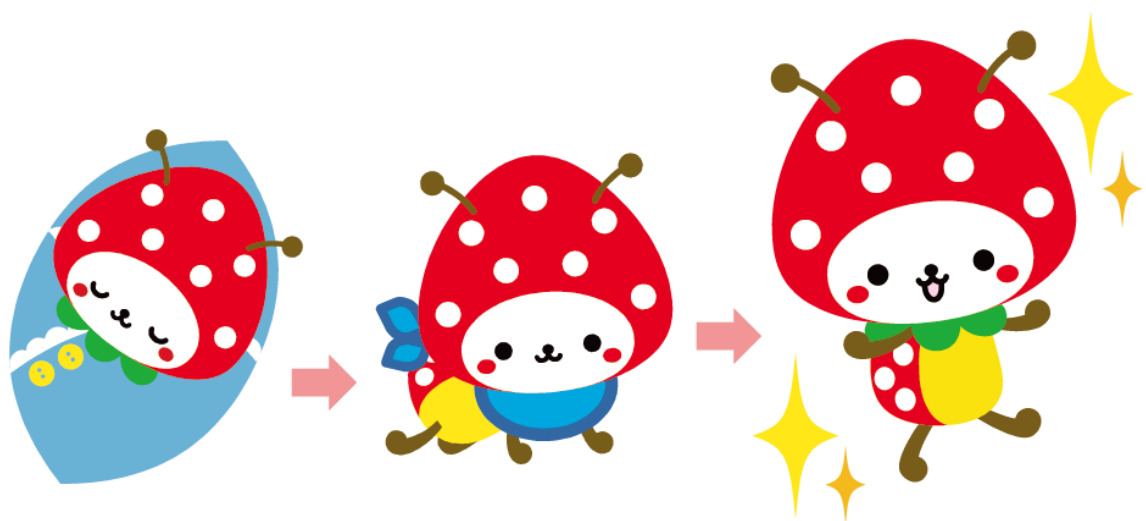
「基本事業成果指標」の「議会だよりを読んでいる市民の割合」において、「議会への関心度の低さ」が挙げられている。市民が知りたい情報は何なのかを踏まえて対策を講じる必要がある。

5.「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」に向けて

山武市においては市民の生活に直結する事業を中心に評価が実施されている。平成25年度から始まった後期基本計画は計画期間が終了し、これまでのまちづくりの評価結果を踏まえ、令和元年度から第2次山武市総合計画が策定され、今後のまちづくりに向けて、着実に対応が図られてきた。

また、この「学識経験を有する者の知見」で提言したことが次年度の「まちづくり報告書」の作成にフィードバックされており、年々、評価手法が進化している。

第2次山武市総合計画は令和4年度で終わり、令和5年度から第3次山武市総合計画が始まった。山武市を取り巻く環境の変化に的確に対応し、今後も行政評価の結果を政策にフィードバックすることで、「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」を実現していくことが望まれる。



5. 総合計画の体系図

基本構想 ・ 海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり
 ・ 成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり
 ・ 将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり

政策名	施策名	基本事業名	重点分野	行政改革
1 暮らしを支える快適なまちづくり	1 地域核をネットワークする都市整備の推進	1 道路網の整備・維持管理	●	
		2 成田空港周辺地域としての基盤整備	●	
		3 浸水対策の推進		
		4 駅周辺の利便性の向上	●	
		5 公園の適正な管理		
		6 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用	●	
	2 公共交通網の整備・充実	1 市内における交通手段の確保	●	●
		2 バスでの主要都市へのアクセス向上		
		3 鉄道の利便性向上		
	3 防災・減災対策の推進	1 地域防災力の向上		
		2 災害支援体制の確立		
		3 防災意識の向上		●
		4 消防力の充実		
		5 強靱化対策の推進		
2 住みやすい環境と安全なまちづくり	1 生活環境の充実	1 生活公害の対策		
		2 美化運動の推進と不法投棄防止対策		
		3 航空機騒音等の対策		
	2 廃棄物の減量・処理の適正化	1 ごみの減量化・再資源化の推進		
		2 廃棄物に関する意識の向上と啓発		
		3 ごみ処理の効率化		
	3 自然環境の保全	1 自然環境保全活動の推進		
		2 自然環境取組意識の向上		
		3 バイオマスタウン構想の推進		
		4 再生可能エネルギー対策の推進		
		5 汚水処理の推進		
	4 上水道の充実	1 安定給水の確保		
		2 水質の安全性の確保		
		3 地震等の災害対策		
		4 経営の健全化		
	5 防犯・交通安全の推進	1 防犯体制の充実		
		2 児童・生徒の安全確保		
		3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備		
		4 消費者トラブルの防止		
		5 交通安全意識の向上		
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	1 農林水産業の振興	1 経営の安定化の推進		
		2 担い手の育成・支援	●	
		3 農地の利用集積の推進		
		4 農産物の付加価値向上と販路の拡大		
		5 農業基盤整備の推進		
		6 森林再生の推進		
	2 商工業の振興と地域経済活性化	1 市内消費の向上		
		2 経営体の体質強化・育成		
		3 企業立地と企業定着による雇用の推進	●	
		4 成田空港経済圏の形成	●	
	3 観光の振興	1 魅力ある観光事業の推進		
		2 海岸を活用した観光推進	●	
		3 観光情報の発信		

政策名	施策名	基本事業名	重点分野	行政改革
4	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり 「保健・福祉・医療の充実」	1 高齢者福祉の充実	1 生きがいづくりと介護予防の推進 2 介護サービス・日常生活の支援 3 安全・安心な生活への仕組みづくり 4 介護保険制度の安定的な運用	●
		2 障がい者（児）福祉の充実	1 自立支援サービスの促進 2 地域生活支援の基盤づくり 3 社会活動参加の促進 4 児童発達支援の充実	
		3 健康づくりの推進	1 心身の健康管理の充実 2 健診の受診率向上と生活習慣の改善 3 母子の健康管理 4 医療体制の充実 5 国民健康保険医療費の改善	● ●
		4 子育ての支援	1 幼保機能の充実 2 子育て不安の軽減 3 子育て家庭への援助 4 こどもの人権の尊重 5 学童保育の充実 6 次世代育成による家族形成の支援	● ●
		5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進	1 地域福祉の担い手育成 2 社会福祉機関・団体の充実 3 生活困窮者自立支援の充実 4 生活保護制度の適正な実施 5 公営住宅の維持管理	
		1 学校教育の充実	1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進 2 「健やかな体」の育成 3 「豊かな心」を育む 4 ICT 教育の実践 5 教育環境の整備 6 地域と学校の協力体制の推進	● ●
		2 生涯学習の推進	1 主体的な学習の推進 2 生涯学習施設の利用促進 3 文化財の保護・活用 4 芸術文化活動の充実 5 青少年の育成	
		3 スポーツの振興	1 スポーツ活動の充実 2 体育関係団体・指導者の育成 3 体育施設の利用促進	
		4 人権尊重のまちづくり	1 人権教育・人権啓発の推進 2 人権擁護の推進 3 男女共同参画の推進	
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
5	生涯を通じて人と人とのつながり 共に学びあえるまちづくり 「教育・文化の振興」	1 学校教育の充実	1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進 2 「健やかな体」の育成 3 「豊かな心」を育む 4 ICT 教育の実践 5 教育環境の整備 6 地域と学校の協力体制の推進	● ●
		2 生涯学習の推進	1 主体的な学習の推進 2 生涯学習施設の利用促進 3 文化財の保護・活用 4 芸術文化活動の充実 5 青少年の育成	
		3 スポーツの振興	1 スポーツ活動の充実 2 体育関係団体・指導者の育成 3 体育施設の利用促進	
		4 人権尊重のまちづくり	1 人権教育・人権啓発の推進 2 人権擁護の推進 3 男女共同参画の推進	
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
6	市民と行政が協働してつくるまちづくり 「コミュニティ推進と行財政の効率化」	1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●
		1 協働と交流によるまちづくり	1 区・自治会活動の活性化 2 市民活動の活性化 3 市民活動施設の利用促進 4 多文化共生社会の推進 5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	●
		2 開かれた市政とまちの魅力発信	1 情報発信力の充実 2 広聴の充実 3 議会情報の公開の推進	● ●
		3 計画的・効率的な行財政運営	1 行政経営の推進 2 人材育成と効率的な組織運営 3 健全な財政運営 4 税収の確保 5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進 6 情報化の推進と適正管理	● ● ● ● ●
		4 公正確実な事務の執行	1 適正な会計処理 2 積極的な選挙啓発 3 監査の充実 4 情報公開及び個人情報保護の推進 5 窓口サービスの向上 6 公平・公正な課税	●

6. 施策の進み具合の報告

(1) 評価結果の見方

政策 01 暮らしとまちづくり経済おまちづくり
施策 01 総合計画の体系です。6つの政策、24の施策、107の基本事業があります。

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民 対象：誰を（何を）	地域核の振興 施策・基本事業のめざす姿を記載しています。
基準値は一部を除き平成29年度、めざそう値は令和4年度となります。	

施策の成果状況と評価

指標①	都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度	単位	基準値	実績値（R03）	実績値（R04）	めざそう値（R04）	対基準値
	【土木課】	%	53.4	55.9	57	54	☀️ (横ばい)
評価	施策・基本事業の成果指標ごとに評価内容を記載しています。 評価結果に基づき、次年度以降の施策、事業の方向性を検討するための判断材料として活用します。						対前年度 ☀️ (横ばい)
							達成状況 🏰 (達成)

実績値の推移をグラフで示しています。

基準値からめざそう値への方向性をラインで示しています。

【評価区分】

- ☀️（向 上）：成果が順調に推移しているもの
- ☀️（横ばい）：成果が横ばい又はやや向上しているもの
- ☁️（横ばい）：成果が横ばい又はやや低下しているもの
- ☔️（低 下）：成果が低下しているもの
- ：比較不可

【達成状況】

- 🏰（達 成）：めざそう値を達成しているもの
- （高 ）：めざそう値に近いもの
- （中 ）：「高」と「低」の間のもの
- （低 ）：基準値から悪化しているもの
- ：比較不可

(2) 施策・基本事業評価結果

【政 策】

1 暮らしを支える快適なまちづくり

【施 策】

1-1 地域核をネットワークする都市整備の推進

1-2 公共交通網の整備・充実

1-3 防災・減災対策の充実

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆国・県道においては、市街地における国道126号とそれに接続する県道の渋滞緩和や、通学路及び生活道路では安全に通行できる環境整備が、それぞれ求められています。加えて、成田空港の機能強化に伴い、成田空港方面へのアクセス改善や、産業振興を視野に入れた道路環境の改善が必要となっています。

◆排水路等を含む道路施設や公園施設については、適正な管理が求められ、定期的な調査や修繕が必要となっています。

◆駅周辺の市街地については、人口が微減する一方、高齢化が進んでいることから、駅周辺の中心市街地の活性化や、利便性の向上を図る必要があります。その他の地域では、人口減少に伴い増加している空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成につなげる必要があります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度 (%)	成果	55.9	57	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	道路の拡幅 改良 新設延長 (計画期間累計) (km)	成果	6.8	9.31	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	道路 橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数 (件)	成果	1	1	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	成田空港関連事業実施箇所数 (延べ) (箇所)	成果	114	177	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	床上浸水件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	駅周辺の利便性に対する満足度 (%)	成果	47.1	46.7	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
05	都市公園長寿命化進捗率 (%)	成果	42	43.8	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
06	空家対策数 (計画期間累計) (件)	成果	47	62	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
06	景観条例指導件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 市全域	地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

施策の成果状況と評価

指標①	都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
	【土木課】	%	53.4	55.9	57	54	☀ (横ばい)
評価	<状況> 都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度は57.0%で、基準値と比較して3.6ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、評価対象の5項目のうち、特に排水設備の整備・管理状況について満足度が良好となりました。他地域と比較し、松尾地域の結果が良好なことから、松尾駅周辺の排水対策工事が進んだことにより満足度が上昇した要因と考えます。						対前年度
							☀ (横ばい)
							達成状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 道路網の整備・維持管理

基本事業 02 成田空港周辺地域としての基盤整備

基本事業 03 浸水対策の推進

基本事業 04 駅周辺の利便性の向上

基本事業 05 公園の適正な管理

基本事業 06 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

基本事業01 道路網の整備・維持管理

指標①	道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		Km	0	6.8	9.31	8	☀ (向上)
評価	【土木課】 ＜状況＞ 道路の拡幅・改良・新設延長は計画期間の累計で9.31kmとなり、めざそう値（4年間累計）の令和4年度期待値2Kmより0.51Km増加し、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 本計画期間では、主に成東256号線や大富117号線の舗装新設工事を予定していました。地元調整が予定通りに進んだため、順調に工事を実施することができた要因と考えます。						☀ (向上)
		(Km) 対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ☑ (達成)					

基本事業02 成田空港周辺地域としての基盤整備

指標①	成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		箇所	0	114	177	48	☀ (向上)
評価	【土木課】 ＜状況＞ 令和4年度の成田空港関連事業実施箇所数は63箇所、めざそう値（4年間累計）の令和4年度期待値12箇所より、51箇所増加し、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 本計画期間では、成田国際空港の第3滑走路整備による機能強化を見越し、空港へのアクセスが良好な松尾・蓮沼地区の道路整備の要望が増加しており、市としても優先度が高いと思われる箇所が多く、整備を推進したことが要因です。						☀ (向上)
		(箇所) 対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ☑ (達成)					

基本事業04 駅周辺の利便性の向上

指標①	駅周辺の利便性に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	40.8	47.1	46.7	43	☀ (向上)
評価	【都市整備課】 ＜状況＞ 駅周辺の利便性に対する満足度は46.7%で、基準値と比較して5.9ポイント増加、前年度と比較して0.4ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 蓮沼地域を除く各地域で満足度が向上しており、各駅周辺の整備後、時間の経過とともに利用の定着化が図られ、整備効果が発現していることが要因と考えられます。						☀ (向上)
		(%) 対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ☑ (達成)					

基本事業06 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標①	空家対策数（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		件	0	47	62	66	☀ (向上)
評価	【都市整備課】 ＜状況＞ 空家対策数は62件で、前年度と比較して15件増加しましたが、計画期間累計のめざそう値にはやや届きませんでした。 ＜原因＞ 空家対策として空家所有者への啓発事業、適正管理に対する助言や、特定空家所有者への勧告を実施しました。こうした取組により、空家の適正管理に対する所有者の意識が高まり、空家の改善に至ったケースが増えていますが、一方で相続人特定が困難な空家や相続人不存在の空家など、助言、指導が困難な事例が増加したことが、めざそう値未達の要因と考えられます。						☀ (向上)
		(件) 対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ☐ (高)					

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 02 公共交通網の整備・充実

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆人口減少及び少子高齢化（平成29年4月1日現在、高齢化率31.8%）が急速に進んでおり、日常生活の移動手段がない高齢者が増加傾向にあり、交通弱者の移動手段として公共交通の重要性は大きくなっています。
◆そのため、市内3区域内を運行するデマンド対応の乗合タクシーと、各地域の拠点及び主要施設間を連絡する基幹バスを運行し、接続可能な公共交通の確立を目指します。
◆本計画期間では、平成30年度に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」に基づき、各交通手段の連携と維持向上、より公共交通を使いやすい環境づくりに取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
公共交通網の満足度（％）	成果	46.1	44.4	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％）	成果	36.5	36.1	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
01	基幹バスの年間利用者数（人）	代替	38,792	43,507	☂ (低下)	☀ (向上)	
01	乗合タクシーの年間利用者数（人）	代替	39,822	34,453	☂ (低下)	☂ (低下)	
01	バス運行状況の満足度（％）	成果	41.8	41.2	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数（人）	成果	692	808	☂ (低下)	☀ (向上)	
02	成田空港方面への1日当たりのバス利用者数（人）	成果	42.1	47.8	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	1日当たりの鉄道利用者数（人）	代替	3,670	3,854	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 02 公共交通網の整備・充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 交通事業者	・ 公共交通網が充実し、市民生活における移動の利便性が高まります。

施策の成果状況と評価

指標 ①	公共交通網の満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値															
	【企画政策課】	%	41.3	46.1	44.4	45	☀ (横ばい)															
評 価	＜状況＞ 公共交通網の満足度は44.4%で、基準値と比較して3.1ポイント増加、前年度と比較して1.7ポイント減少し、めざそう値を達成できませんでした。 ＜原因＞ 満足度について、男性46.4%、女性42.8%、年代別では65～69歳代が49.0%で最も高く、50歳代が39.7%で最も低い数値です。地域別では成東49.6%、山武41.2%、蓮沼38.8%、松尾43.9%で、特に蓮沼地域及び松尾地域の減少が大きく、路線バスの廃線（蓮沼循環線R3.9末廃線）や新路線実証実験運行（山室・豊岡循環線及び蓮沼・空港道路線）の終了（R4.9末終了）が影響していると考えられます。		(%) <table><caption>公共交通網の満足度推移 (推定値)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>満足度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>41.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>42.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>45.0</td></tr><tr><td>R02</td><td>43.0</td></tr><tr><td>R03</td><td>46.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>44.4</td></tr></tbody></table>					年度	満足度 (%)	基準	41.3	H30	42.5	R01	45.0	R02	43.0	R03	46.1	R04	44.4	対 前年度 ☁ (横ばい)
	年度	満足度 (%)																				
	基準	41.3																				
H30	42.5																					
R01	45.0																					
R02	43.0																					
R03	46.1																					
R04	44.4																					
							達成 状況 ■ (高)															

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内における交通手段の確保

基本事業 02 バスでの主要都市へのアクセス向上

基本事業 03 鉄道の利便性向上

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標 ①	市内移動の交通手段に困っている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	39.7	36.5	36.1	35.8	☀ (横ばい)
評価	<状況> 市内移動の交通手段に困っている市民の割合は36.1%で、基準値と比較して3.6ポイント、前年度と比較して0.4ポイント減少しましたが、めざそう値は達成できませんでした。 <原因> アンケートの割合では、地域別で成東35.0%、山武38.9%、蓮沼37.3%、松尾35.6%で地域毎の差異は少なく、年代別では10歳代が80%を超えており、若年層の交通手段確保に配慮した取り組みが必要と考えます。						☀ (横ばい) 対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (高)

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標 ④	バス運行状況の満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	36.2	41.8	41.2	39	☀ (向上)
評価	<状況> バス運行状況の満足度は41.2%で、基準値と比較して5.0ポイント増加、前年度と比較して0.6ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 <原因> 地域を走る民間路線バスが廃線となった蓮沼地域の満足度が低下している反面、コロナ禍で厳しい状況にあった中、民間路線の維持存続が図られた成東・山武地域においては満足度の向上が見られ、路線維持に対する一定の評価があったものと考えられます。						☀ (向上) 対 前年度 ☁ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (達成)

基本事業02 バスでの主要都市へのアクセス向上

指標 ②	成田空港方面への1日当たりのバス利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【空港地域振興課】	人	91	42.1	47.8	95	☔ (低下)
評価	<状況> 成田空港方面への1日当たりのバス利用者数は47.8人で、前年度と比較すると5.7人増加しましたが、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、コロナ禍で利用者数が大きく減少しました。規制が緩和され空港従業員や観光客などの空港利用者数が増加し始めましたが、コロナ禍以前の人の流れが回復しなかったことが要因と考えられます。						☔ (低下) 対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 ■■■ (低)

基本事業03 鉄道の利便性向上

指標 ①	1日当たりの鉄道利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	人	4,841	3,670	3,854	4,605	☔ (低下)
評価	<状況> 1日当たりの鉄道利用者数は3,854人で、前年度と比較すると184人増加しましたが、基準値を987人下回り、めざそう値に届きませんでした。 <原因> 各駅の利用者の内訳は、成東駅2,411人(前年比171人増)、日向駅687人(前年比19人増)、松尾駅756人(前年比6人減)です。本計画期間を通して、人口減少や少子高齢化による通勤通学利用者の減少、新型コロナウイルス感染症に係る都心部への移動自粛、リモートワークの普及などが利用者数の減少要因と考えられます。						☔ (低下) 対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (低)

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 03 防災・減災対策の推進

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆東日本大震災以降、市内の自主防災組織の設置が促進されています。地域主体の継続的な活動が期待されます。
- ◆千葉県地域防災計画の一部改訂を受けて、避難行動要支援者の個別避難計画の策定に着手し、1件の計画を作成しました。計画作成が必要な避難行動要支援者について引き続き計画の作成に取り組んでいきます。
- ◆近年は台風等の集中豪雨による災害が多く発生しています。自主防災組織による訓練等の積極的な活動が期待されます。
- ◆地域防災強化として消防団員の確保が必要です。団員の消防技術の維持・向上のために訓練が必要です。
- ◆津波対策として、井之内地先に津波避難施設（築山）の整備が完了しました。地域住民に対して避難施設や備蓄物資の活用方法の周知を図る必要があります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対基準値	対前年度	掲載
災害被災戸数(火災含む) 戸)	成果	43	47	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対基準値	対前年度	掲載
01	自主防災組織数 組織)	成果	90	90	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
01	各地区防災訓練実施率 (%)	成果	53.8	69.2	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合 (%)	代替	85.9	78.4	☀ (向上)	☂ (低下)	
02	地域防災計画における災害支援体制 7項目の充足率 (%)	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目) 項目)	成果	5.17	5.1	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
04	消防団の火災出動率 (%)	成果	70.9	62.1	☁ (横ばい)	☂ (低下)	
04	消防団員の充足率 (%)	成果	88.1	86.9	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
04	常備消防職員の充足率 (%)	代替	98.2	98.2	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	強靱化対策が終了した箇所 施設数 東日本大震災以降の累計) 箇所)	成果	7	7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 03 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民・行政 ・ 消防団・常備消防	・ 市民の防災意識が高まり、地域の防災力が向上し、災害の被害が少なくなります。

施策の成果状況と評価

指標①	災害被災戸数(火災含む)	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
	【消防防災課】	戸	59	43	47	50	☀ (向上)
評価	<状況> 災害被災戸数(火災含む)は47戸で、基準値と比較して12戸減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルスの影響で社会活動が低下していた令和2年度は、火災件数が減少傾向にありました。社会活動の活発化により、火災件数が増えていると考えられますが、消防団による火災予防運動や歳末警戒により、抑えられていると考えられます。		(戸)				対前年度
							☁ (横ばい)
							達成状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域防災力の向上

基本事業 02 災害支援体制の確立

基本事業 03 防災意識の向上

基本事業 04 消防力の充実

基本事業 05 強靱化対策の推進

基本事業01 地域防災力の向上

指標②	各地区防災訓練実施率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【消防防災課】	%	43.3	53.8	69.2	70															
評価	<状況> 各地区防災訓練実施率は69.2%で、基準値と比較して25.9ポイント増加しましたが、めざそう値に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、令和元年の房総半島台風の影響による訓練の中止や、新型コロナウイルスの影響により、訓練実施が見送られたことが要因と考えられます。防災訓練実施率については、継続的な啓発活動により機運が高まったことが増加の要因と考えられます。	(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>43.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>60.2</td></tr><tr><td>R01</td><td>45.5</td></tr><tr><td>R02</td><td>45.0</td></tr><tr><td>R03</td><td>52.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>69.2</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	43.3	H30	60.2	R01	45.5	R02	45.0	R03	52.5	R04	69.2	(向上)
		項目	値 (%)																		
		基準	43.3																		
		H30	60.2																		
		R01	45.5																		
R02	45.0																				
R03	52.5																				
R04	69.2																				
	対前年度																				
	(向上)																				
	達成状況																				
	(高)																				

基本事業02 災害支援体制の確立

地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率		単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値						
指標 ①		【消防防災課】	%	100	100	100	100						
							☀ (向上)						
評 価	<状況> 地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率は100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、25の協定を締結し、合計の協定締結数は84となりました。備蓄品については、賞味期限を迎える食品等の入替えを行いました。避難所、給水体制(22箇所)、伝達手段(8種類)については、基準値を維持しています。防災行政無線、戸別受信機の不具合については、保守管理を実施し修繕、交換にて対応したことが要因と考えられます。						(%)						
													☀ (向上)
													達成 状況
													☀ (向上)
													🏰 (達成)

基本事業03 防災意識の向上

指標 ①	災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
		項目	4.14	5.17	5.1	4.25															
評 価	<状況> 災害に対する備えの平均実施項目数は5.10項目で、基準値と比較して0.96項目増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、令和元年房総半島台風による被害を受け、災害時に必要とされる飲料水、保存食品、ラジオ・懐中電灯、燃料などの基本的な備えや、災害時の避難場所情報を家族内で共有することの重要性が改めて認識されたことが要因と考えられます。	(項目) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4.14</td></tr><tr><td>H30</td><td>4.14</td></tr><tr><td>R01</td><td>4.87</td></tr><tr><td>R02</td><td>4.63</td></tr><tr><td>R03</td><td>5.17</td></tr><tr><td>R04</td><td>5.10</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	4.14	H30	4.14	R01	4.87	R02	4.63	R03	5.17	R04	5.10	(向上)
		項目	値																		
		基準	4.14																		
		H30	4.14																		
		R01	4.87																		
R02	4.63																				
R03	5.17																				
R04	5.10																				
	対 前年度																				
	(横ばい)																				
	達成 状況																				
	(達成)																				

基本事業05 強靱化対策の推進

指標①	強靱化対策が終了した箇所・施設数（東日本大震災以降の累計）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【消防防災課】	箇所	4	7	7	6	
評価	<状況> 強靱化対策が終了した箇所・施設数（東日本大震災以降の累計）は7箇所、基準値と比較して3箇所増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、雨水対策としての松尾駅前整備、津波対策としての津波避難タワー（2基）、緑海小・連沼中津波避難階段、木戸川堤防嵩上げ、井之内津波避難施設整備が完了したことによるものです。						(向上)
							対前年度
							
							達成状況
							



【政 策】

2 住みやすい環境と安全なまちづくり

【施 策】

2-1 生活環境の充実

2-2 廃棄物の減量・処理の適正化

2-3 自然環境の保全

2-4 上水道の充実

2-5 防犯・交通安全の推進

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 01 生活環境の充実

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆所有者不明土地の増加により、管理不全の空き地が増えていることから、所有者不明土地への対応を検討する必要があります。
- ◆不法投棄監視員及び不法投棄パトロールで回収されるポイ捨てごみ等が増加しています。
- ◆成田国際空港の更なる機能強化策として、第3滑走路の新設・飛行時間の延長が提案されたことから、周辺自治体として新たな騒音対策等が必要となります。
- ◆航空機騒音直下の市民等に対し、飛行回数増に対する防音等の整備措置を、成田国際空港株式会社に要請していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合（％）	成果	66.2	68.6	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
生活環境に関する苦情件数（件）	成果	242	298	☂ (低下)	☂ (低下)	○
航空機騒音を不快に感じる市民の割合（％）	成果	81.7	73.9	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	空地の管理（雑草等）苦情件数（件）	成果	91	86	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	その他生活公害苦情件数（件）	成果	55	79	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	産業廃棄物不法投棄件数（件）	成果	7	18	☂ (低下)	☂ (低下)	○
02	一般廃棄物等不法投棄件数（件）	成果	89	115	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	ごみゼロ運動参加者数（人）	成果	0	8,610	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	航空機騒音対策に対する満足度（％）	成果	78.5	77.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 01 生活環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 市民が快適に暮らせる生活環境を確保します。

施策の成果状況と評価

指標①	快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	%	67.6	66.2	68.6	70	☀ (横ばい)
評価	<状況> 快適な生活環境が整っていると思う市民の割合は68.6%で、基準値と比較して1.0ポイント増加しましたが、めざそう値70.0%には届きませんでした。 <原因> 野焼き、不法投棄に関する苦情が増加傾向にあることが要因と考えられます。また、減少傾向ではありますが、空き地の管理不良、犬猫の管理に関する苦情もあり、市民への呼びかけを今後も継続していきます。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■ (中)
指標②	生活環境に関する苦情件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	248	242	298	248	☔ (低下)
評価	<状況> 生活環境に関する苦情件数は298件で、基準値と比較して50件増加し、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 生活環境に関する主な苦情は、不法投棄、空き地の管理不良ですが、これに加え野焼きに関する苦情も増えていることが要因です。野焼きの防止について防災行政無線等で防止の呼びかけを行っていますが、今後も継続して行ってまいります。						対前年度 ☔ (低下) 達成状況 ■■■ (低)
指標③	航空機騒音を不快に感じる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【空港地域振興課】	%	78.4	81.7	73.9	75	☀ (向上)
評価	<状況> 航空機騒音を不快に感じる市民の割合は73.9%で、基準値と比較して4.5ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 成田国際空港を発着する航空機の便数が増加しましたが、防音工事や、航空機の中・小型化や低騒音化が進んでいることが騒音を不快に感じる市民の割合が減少した要因であると考えられます。						対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ☀ (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活公害の対策

基本事業 02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

基本事業 03 航空機騒音等の対策

基本事業01 生活公害の対策

指標①	空地の管理（雑草等）苦情件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	128	91	86	128	☀
		(件)					(向上)
評価	<状況> 空地の管理（雑草等）の苦情件数は86件で、基準値と比較して42件減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 空地の管理については、市からの呼びかけに対して、土地所有者及び管理者による適正管理が増えてきたことが苦情件数減少の要因です。空き地の雑草等の問題は、苦情があってもすぐには対応されないケースも多く、市条例に基づき、厳正に対処していきます。						対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■ (達成)

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標①	産業廃棄物不法投棄件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	4	7	18	4	☂
		(件)					(低下)
評価	<状況> 産業廃棄物不法投棄件数は18件で、基準値と比較して14件増加し、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 関係機関と連携を図りパトロールを実施していますが、建築廃材等の不法投棄が増えています。主に自動車部品が多く投棄されており、処分料金の高騰等が不法投棄につながっている要因ではないかと考えられます。						対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標③	ごみゼロ運動参加者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	人	18,817	0	8,610	10,000	☂
		(人)					(低下)
評価	<状況> 令和4年度は8,610人の参加となりましたが、前回実施した令和元年度と比較して961人減少し、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の活動が制限されていたことが原因と考えられます。コロナ禍において活動規模自体が縮小されていたため、今後は、改めて啓発を強化していきます。						対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (低)

基本事業03 航空機騒音等の対策

指標①	航空機騒音対策に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【空港地域振興課】	%	74.7	78.5	77.5	80	☀
		(%)					(横ばい)
評価	<状況> 航空機騒音対策に対する満足度は77.5%で、基準値と比較して2.8ポイント増加しましたが、前年度と比較して1ポイント減少し、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 満足度が基準値を上回った要因としては、防音家屋冷暖房設備維持管理補助金の交付をスムーズに対応したことが考えられます。なお、航空機の発着数の増加により、騒音対策に対する満足度が低下することが懸念されます。						対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■■■ (中)

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 02 廃棄物の減量・処理の適正化

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が緩和され、在宅時間が減少し家庭ごみの排出量は減少傾向にあります。
- ◆家庭ごみの減量化に対する市民の意識が向上し、生ごみ処理機を設置する家庭が増加しています。
- ◆廃棄物の3Rを推進するため、市民や事業者へきめ細かなごみの分別の周知を行っていく必要があります。（リサイクル倉庫の活用、資源回収運動奨励制度の普及等）
- ◆容器包装リサイクル法に定めるところの容器包装廃棄物（10品目）の分別収集に取り組む必要があります。（東金市外三市町清掃組合：6品目、山武郡市環境衛生組合：9品目）
- ◆山武郡市環境衛生組合では、新ごみ処理施設建設にあたり、新たな収集方法及び分別品目等の見直しについて、令和5年2月から、組合及び構成市町での協議を開始しています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
1人1日当たりのごみ排出量 (g)	成果	803	783	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	家庭ごみ排出量 (t)	成果	11,147	10,472	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
01	事業系ごみ排出量 (t)	成果	2,736	2,972	☀ (横ばい)	☂ (低下)	
01	再資源化率 (%)	成果	16.2	15.6	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	ごみ排出指導件数 (件)	成果	8	4	☂ (低下)	☀ (向上)	○
02	残置シール貼付件数 (件)	成果	4,828	4,708	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
03	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む) (円)	成果	10,539	10,491	☂ (低下)	☀ (横ばい)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 02 廃棄物の減量・処理の適正化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 事業者 ・ 廃棄物処置	・ ごみ排出量が減り、安全に効率的に処理されます。

施策の成果状況と評価

指標①	1人1日当たりのごみ排出量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【環境保全課】	g	719	803	783	719	☂ (低下)														
評価	1人1日当たりのごみ排出量は783gで、前年度と比較して20g減少しましたが、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 ＜原因＞ 本計画期間では、新型コロナウイルス感染症の流行による、いわゆる「巣ごもり需要」の拡大により、在宅時間が増え、家庭ごみの排出量も比例して増加したものと考えられます。令和4年度に減少に転じたのは、外出する機会が増加したためと考えられます。排出量が増減しています。			(g) <table><thead><tr><th>年度</th><th>排出量 (g)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>719</td></tr><tr><td>H30</td><td>803</td></tr><tr><td>R01</td><td>783</td></tr><tr><td>R02</td><td>783</td></tr><tr><td>R03</td><td>783</td></tr><tr><td>R04</td><td>783</td></tr></tbody></table>				年度	排出量 (g)	基準	719	H30	803	R01	783	R02	783	R03	783	R04	783
	年度	排出量 (g)																			
基準	719																				
H30	803																				
R01	783																				
R02	783																				
R03	783																				
R04	783																				
				☀ (横ばい)																	
				達成状況 ■■■ (低)																	

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

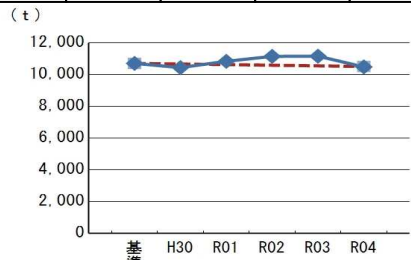
□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 ごみの減量化・再資源化の推進

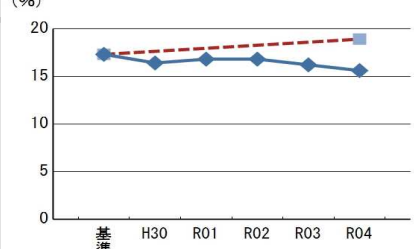
基本事業 02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

基本事業 03 ごみ処理の効率化

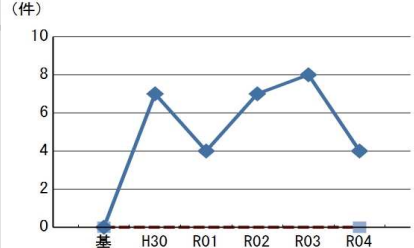
基本事業01 ごみの減量化・再資源化の推進

指標 ①	家庭ごみ排出量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【環境保全課】	t	10,693	11,147	10,472	10,501															
評 価	<状況> 家庭ごみ排出量は10,472tで、基準値と比較して221t減少し、基準値を下回り、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルス感染症の流行による、いわゆる「巣ごもり需要」の拡大により、在宅時間が増え、期間中は一時的に増加の傾向でしたが、令和4年度に減少に転じたのは、感染症対策の緩和により外出する機会が増えたためと考えられます。	(t)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (t)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>10,693</td></tr><tr><td>H30</td><td>11,147</td></tr><tr><td>R01</td><td>10,472</td></tr><tr><td>R02</td><td>10,472</td></tr><tr><td>R03</td><td>10,472</td></tr><tr><td>R04</td><td>10,472</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (t)	基準	10,693	H30	11,147	R01	10,472	R02	10,472	R03	10,472	R04	10,472	(横ばい) 対 前年度  (向上) 達成 状況  (達成)
		年度	実績値 (t)																		
基準	10,693																				
H30	11,147																				
R01	10,472																				
R02	10,472																				
R03	10,472																				
R04	10,472																				

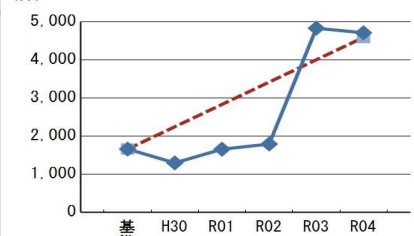
基本事業01 ごみの減量化・再資源化の推進

指標 ③	再資源化率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	%	17.3	16.2	15.6	18.9	
評 価	<状況> 再資源化率は15.6%で、基準値と比較して1.7ポイント下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 資源ごみについては、市のごみ袋に入れず、店舗等に設置している回収ボックス等に持ち込んでいるケースが増えていることが要因と考えられます。	(%) 					対 前年度
							 (横ばい)
							達成 状況
							 (低)

基本事業02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

ごみ排出指導件数		単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値	
指標①		件	0	8	4	0		
	【環境保全課】						(低下)	
評価	<状況> ごみ排出指導件数は4件で、前年度と比較して4件減少しましたが、基準値の0件を下回り、めざそう値も達成できませんでした。 <原因> 本計画期間を通して、適切なごみの出し方の掲示を行うなど啓発を定期的に行っていますが、外国人住民等に理解不足があったことから、ゴミ出しについて指導を行ったことが要因です。特に外国人は、言語の壁があり、英語表記のチラシ、ホームページ等により今後も周知を図っていきます。	(件) 					対前年度	
								(向上)
値							達成状況	
								(低)

基本事業02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

指標②		単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		件	1,657	4,828	4,708	4,586															
		【環境保全課】																			
評価	<状況> 残置シール貼付件数は4,708件で、前年度と比較して120枚減少しましたが、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 本計画期間中に、ごみ処理の基準を見直したことで、残置シールを張る対象の「不適切なごみ出し」に該当するケースが増加したことが原因と考えます。新しい基準の啓発活動に取り組み、正しいゴミ出しの周知を図っていきます。	(件)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>1,657</td></tr><tr><td>H30</td><td>1,200</td></tr><tr><td>R01</td><td>1,657</td></tr><tr><td>R02</td><td>1,750</td></tr><tr><td>R03</td><td>4,708</td></tr><tr><td>R04</td><td>4,586</td></tr></tbody></table>					年度	件数	基準	1,657	H30	1,200	R01	1,657	R02	1,750	R03	4,708	R04	4,586	(低下)
		年度	件数																		
基準	1,657																				
H30	1,200																				
R01	1,657																				
R02	1,750																				
R03	4,708																				
R04	4,586																				
																					
							(横ばい)														
							達成状況														
																					
							(低)														

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 03 自然環境の保全

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆地域での環境活動を充実させ、自然環境保全に係る体制を整備する必要があります。
- ◆自然環境保全について、市民や企業の意識を高め、自主的な取組を促す必要があります。
- ◆林業者不足による山林の荒廃が進んでいるため、森林保全の一環として、県及び民間事業者と共同でバイオマス取組を実施していきます。
- ◆地球温暖化防止のため二酸化炭素の排出量の削減が求められています。
- ◆令和2年6月2日にゼロカーボンシティを宣言し、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。
- ◆公共用水域の水質が徐々に改善されています。
- ◆農業集落排水事業が大平、借毛本郷、武野里、大富の4地区で供用開始しています。円滑な運営のため接続率の向上と汚泥のコンポスト化を図ります。
- ◆浄化槽の維持管理が行われておらず、未処理の汚水が公共用水域に排水されてしまうおそれがあります。新築住宅での水洗化はほぼ100%で、小型合併処理浄化槽が設置されている状況ですが、引き続き合併処理浄化槽の適正な設置と補助金の継続を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
自然環境の満足度（％）	成果	82.5	81.2	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自然環境保全活動に参加している団体数（団体）	成果	31	30	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	環境にやさしい生活様式平均実践項目数（項目）	成果	5.26	5.14	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
02	環境学習参加団体数（団体）	成果	16	15	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	バイオマスに関する取組の事業数（累計）（件）	代替	9	9	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
04	再生可能エネルギーの発電装置の普及件数（件）	成果	1,992	1,734	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
04	再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量（kw）	成果	531,214	512,648	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
04	市の事務事業により発生する二酸化炭素の量（CO2）	成果	4,316	4,678	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
05	BOD濃度作田川（中流域）（mg/l）	成果	1.8	1.4	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	BOD濃度木戸川（中流域）（mg/l）	成果	1.6	1	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	污水处理世帯の普及率（％）	成果	49	49.3	☀ (向上)	☀ (横ばい)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 03 自然環境の保全

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民・事業者 ・ ボランティア団体 ・ NPO法人	・ 市民や企業による自然環境保護の取組や地球に負荷を与えない行動が定着化し、市の豊かな自然環境が保全されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自然環境の満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【環境保全課】	%	77.5	82.5	81.2	80	☀ (横ばい)														
評 価	<状況> 自然環境の満足度は81.2%で、基準値と比較して3.7ポイント増加、前年度と比較して1.3ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、令和元年房総半島台風を教訓とし、森林整備に対して補助等を推進してきたことや、ゼロカーボンシティ宣言を実施したことで市民の環境に対する意識や自然環境への満足度向上につながった要因と考えられます。			(%) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>満足度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>77.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>82.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>81.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>81.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>81.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>81.2</td></tr></tbody></table>			年度	満足度 (%)	基準	77.5	H30	82.5	R01	81.2	R02	81.2	R03	81.2	R04	81.2	対 前年度
							年度	満足度 (%)													
基準	77.5																				
H30	82.5																				
R01	81.2																				
R02	81.2																				
R03	81.2																				
R04	81.2																				
							☁ (横ばい)														
							達成 状況														
							🏰 (達成)														

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業	01	自然環境保全活動の推進
基本事業	02	自然環境取組意識の向上
基本事業	03	バイオマスタウン構想の推進
基本事業	04	再生可能エネルギー対策の推進
基本事業	05	汚水処理の推進

指標 ①	自然環境保全活動に参加している団体数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																												
	【環境保全課】	団体	29	31	30	29																													
評価	<状況> 自然環境保全活動に参加している団体数は30団体で、基準値と比較すると1件増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 企業や個人さらには大学などで、社会全体で自然環境保全活動に対する意識に変化が起きており、自然環境保全活動へのハードルが低くなったことが要因と考えられます。	(団体) <table border="1"> <caption>参加団体数推移 (単位: 団体)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加団体数</th> <th>基準値</th> <th>めざそう値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>30</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>30</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>					年度	参加団体数	基準値	めざそう値	基準	29	29	29	H30	31	29	29	R01	31	29	29	R02	30	29	29	R03	30	29	29	R04	29	29	29	対 前年度 (横ばい) 達成 状況 (達成)
	年度	参加団体数	基準値	めざそう値																															
基準	29	29	29																																
H30	31	29	29																																
R01	31	29	29																																
R02	30	29	29																																
R03	30	29	29																																
R04	29	29	29																																

指標 ②	環境学習参加団体数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
	【環境保全課】	団体	19	16	15	15	☀ (横ばい)																					
評価	＜状況＞ 環境学習参加団体数は15団体で、めざそう値15団体を達成しました。 ＜原因＞ 市内小中学校の統合により、統合後の15校全校が、環境学習としてごみのリサイクルの仕組みを特別学習として学んでおり、さらには校外学習としてビーチクリーン活動やごみの資源回収活動に取り組んでいます。	<table border="1"> <caption>環境学習参加団体数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>めざそう値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>19</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	めざそう値	基準	19	15	H30	17	15	R01	16	15	R02	17	15	R03	16	15	R04	15	15	☀ 対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 🏰 (達成)
	年度	実績値	めざそう値																									
基準	19	15																										
H30	17	15																										
R01	16	15																										
R02	17	15																										
R03	16	15																										
R04	15	15																										

指標①	バイオマスに関する取組の事業数（累計）	単位	基準値	実績値（R03）	実績値（R04）	めざそう値（R04）	対基準値														
	【農政課】	件	8	9	9	9	☀														
評価	<状況> バイオマスに関する取組の事業数は9件で、基準値と比較して1件増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、モデル事業として「脱炭素型地域づくりモデル形成事業」を実施しました。さらに令和元年の台風被害を経て設置された森林づくり審議会において、森林整備、木材利用の両方の視点から施策を検討しています。	(件) <table border="1"> <caption>バイオマスに関する取組の事業数（累計）実績値</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業数（件）</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	事業数（件）	8	8	9	9	9	9	(向上) ☀ 対前年度 (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)
	項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04														
事業数（件）	8	8	9	9	9	9															

指標 ③	市の事務事業により発生する二酸化炭素の量	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																												
	【環境保全課】	tCO2	5,366	4,316	4,678	5,366	対 前年度 (向上) (横ばい) 達成 状況 (達成)																												
評価	<状況> 市の事務事業により発生する二酸化炭素の量は、4,678tCO2で、基準値と比較して688tCO2減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 節電等の省エネに取り組んでいるなか、コロナ禍における活動自粛に伴う施設利用の減少や、市内小中学校の統廃合により施設数が減少したことが主な要因と考えられます。	(tCO2) <table border="1"> <caption>CO2 Emissions Data (tCO2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>めざそう値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5,366</td> <td>4,800</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>5,366</td> <td>4,700</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>5,366</td> <td>4,300</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>5,366</td> <td>4,316</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>5,366</td> <td>4,678</td> <td>5,366</td> </tr> </tbody> </table>					年度	基準値	実績値	めざそう値	基準	5,366	5,366	5,366	H30	5,366	4,800	5,366	R01	5,366	4,700	5,366	R02	5,366	4,300	5,366	R03	5,366	4,316	5,366	R04	5,366	4,678	5,366	
	年度	基準値	実績値	めざそう値																															
基準	5,366	5,366	5,366																																
H30	5,366	4,800	5,366																																
R01	5,366	4,700	5,366																																
R02	5,366	4,300	5,366																																
R03	5,366	4,316	5,366																																
R04	5,366	4,678	5,366																																

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 04 上水道の充実

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆飲用水を個人用井戸に依存している世帯が多く、上水道への転換には費用がかかるため給水戸数は伸び悩んでいます。
◆水道事業の対象区域外や水道の本管が付近にない地区の一部で地下水の汚染が懸念されています。
◆県より「県内水道の統合・広域化の当面の考え方」が公表され、県は広域自治体として広域的な水源の確保及び水道用水供給事業を担い、市町村は、基礎自治体として末端給水事業を担うことを基本とする考え方が示されました。
◆県営水道と九十九里地域水道企業団との統合を目指した協議が開始され、併せて末端給水事業体（長生郡市広域市町村圏組合、八匠水道企業団、山武市営水道、山武郡市広域水道企業団）による「県内水道の統合・広域化の進め方に係る九十九里地域水道事業体会議」を設置し協議しています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
給水戸数【市営水道】戸)	成果	2,856	2,911	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
給水戸数【広域水道】戸)	成果	10,675	10,818	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	漏水事故件数【市営水道】件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	漏水事故件数【広域水道】件)	成果	43	44	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
02	水質の苦情件数【市営水道】件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	水質の苦情件数【広域水道】件)	成果	0	10	☀ (横ばい)	☂ (低下)	○
03	応急給水資機材の備蓄数【市営水道】袋)	代替	3,000	3,000	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
03	応急給水資機材の備蓄数【広域水道】袋)	代替	6,000	6,000	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	経常収支比率【市営水道】%	成果	108	108.1	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	有収率【市営水道】%	成果	91.4	89.6	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
04	経常収支比率【広域水道】%	成果	106	102.85	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
04	有収率【広域水道】%	成果	88.7	89	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 04 上水道の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 市民が安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	給水戸数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【水道課】	戸	2,705	2,856	2,911	2,887	☀ (向上)
評価	<状況> 給水戸数【市営水道】は2,911戸で、基準値と比較して206戸増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、新築戸建の増加や家庭用井戸ポンプの故障、また、令和元年房総半島台風による被害から災害時の停電への備えとして、市営水道への加入が増加した要因と考えます。		(戸)				対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							🏰 (達成)
指標②	給水戸数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	戸	10,885	10,675	10,818	10,671	☁ (横ばい)
評価	<状況> 給水戸数【広域水道】は10,818戸で、基準値と比較して67戸減少しましたが、前年度と比較して143戸増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、給水地域において、転入などの社会増によって、単身者や外国人などの世帯数が増加したことが要因と考えます。		(戸)				対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	安定給水の確保
基本事業	02	水質の安全性の確保
基本事業	03	地震等の災害対策
基本事業	04	経営の健全化

基本事業01 安定給水の確保

指標①	漏水事故件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【水道課】	件	2	0	0	0	☀ (向上)
評価	<状況> 漏水事故件数【市営水道】は0件で、基準値と比較して2件減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 漏水を未然に防止するため、配水管洗浄及び配水量監視等を日々適正に行い、維持管理に努めています。	(件)					☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業01 安定給水の確保

指標②	漏水事故件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	28	43	44	25	☔ (低下)
評価	<状況> 漏水事故件数【広域水道】は44件で、基準値と比較して16件増加し、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 増設から49年が経過し、経年劣化による漏水が増加していることが要因と考えられます。	(件)					☔ (低下)
							☔ (低下)
							☔ (横ばい)
							☔ (低)
							☔ (低)

基本事業02 水質の安全性の確保

指標①	水質の苦情件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【水道課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<状況> 水質の苦情件数【市営水道】は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 <原因> 水質確認や洗浄作業等の維持管理を適切に実施し、水質基準を満たしています。	(件)					☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業02 水質の安全性の確保

指標②	水質の苦情件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	11	0	10	10	☀ (低下)
評価	<状況> 水質の苦情件数【広域水道】は10件で、基準値と比較して1件減少、前年度と比較して10件増加しましたが、めざそう値を達成しました。 <原因> 令和4年度に台風の影響によって利根川が増水し、稲などの有機物が利根川に流れたことで水が匂うという苦情が発生しましたが、水質等の維持管理を適切に実施しているため、苦情件数が増加しなかった要因と考えられます。	(件)					☀ (低下)
							☔ (低下)
							☔ (達成)
							☔ (達成)

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 05 防犯・交通安全の推進

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆「人口1,000人当たりの刑法犯認知件数」は減少傾向が継続しています。
- ◆刑法犯認知件数のうちその多くが窃盗犯であり、乗り物盗や車上荒らし等の非侵入盗であることから、防犯カメラの設置やドライブレコーダーを搭載した青色パトロールカーを活用した防犯活動を引き続き推進します。
- ◆消費生活センター等の相談体制を確保することにより、電話de詐欺といった特殊詐欺をはじめとする消費者トラブルの防止に努めます。
- ◆「人口1,000人当たりの交通事故発生件数」は減少傾向が継続しています。
- ◆平成29年に道路交通法が改正され、運転免許更新時の高齢者の認知機能の検査が強化されました。
- ◆山武市交通安全条例に基づく交通安全対策会議において策定された、交通安全計画に基づき施策を展開します。高齢者、幼児、児童・生徒及びドライバー等の対象者に応じた交通安全施策に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数（件）	社会	5	6	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
人口1,000人当たりの交通事故発生件数（件）	成果	2.3	2	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数（団体）	成果	28	27	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	防犯活動を行っている協力者数（人）	成果	609	446	☂ (低下)	☂ (低下)	
02	登下校時における児童生徒の事件・事故件数（件）	成果	5	10	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	防犯灯設置要望対応率（％）	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	防犯カメラの設置台数(累積)（台）	成果	39	40	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	消費者相談件数（件）	代替	544	606	☂ (低下)	☂ (低下)	○
04	消費者トラブルにあった市民の割合（％）	成果	5.1	3.8	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
05	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数（回）	成果	5	3	☀ (横ばい)	☂ (低下)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 05 防犯・交通安全の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安心して住めるまちになっていきます。

施策の成果状況と評価

指標①	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【市民自治支援課】	件	9	5	6	9	☀ (向上)														
評価	<状況> 人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は6件で、基準値と比較して3件減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、安心安全メールによる犯罪・不審者情報の提供、地域住民・防犯関係団体・警察等の連携による見守り、声かけ、パトロール等の地道な防犯活動を行ったほか、防犯灯や防犯カメラの施設整備を推進したことが原因と考えられます。	(件) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>9</td></tr><tr><td>H30</td><td>8</td></tr><tr><td>R01</td><td>8</td></tr><tr><td>R02</td><td>6</td></tr><tr><td>R03</td><td>5</td></tr><tr><td>R04</td><td>6</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	9	H30	8	R01	8	R02	6	R03	5	R04	6	対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)
	項目	値																			
基準	9																				
H30	8																				
R01	8																				
R02	6																				
R03	5																				
R04	6																				

指標②	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【市民自治支援課】	件	2.7	2.3	2	2.7	☀ (向上)														
評価	<状況> 人口1,000人当たりの交通事故発生件数は2.0件で、基準値と比較して0.7件減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、交通安全協会指導員による街頭監視や、幼児から高齢者まで各世代に合わせた交通安全教室等を実施したことにより各世代で交通安全への意識が保たれていることが原因と考えられます。	(件) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>2.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>2.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>2.1</td></tr><tr><td>R03</td><td>2.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>2.0</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	2.7	H30	2.5	R01	2.3	R02	2.1	R03	2.4	R04	2.0	対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)
	項目	値																			
基準	2.7																				
H30	2.5																				
R01	2.3																				
R02	2.1																				
R03	2.4																				
R04	2.0																				

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

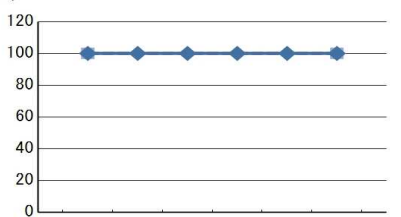
□基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	防犯体制の充実
基本事業	02	児童・生徒の安全確保
基本事業	03	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備
基本事業	04	消費者トラブルの防止
基本事業	05	交通安全意識の向上

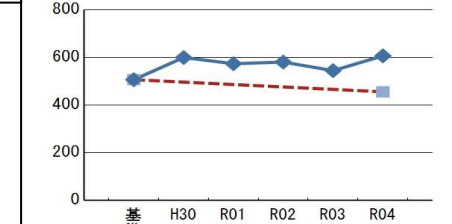
基本事業01 防犯体制の充実

防犯活動を行っている区・自治会や団体の数		単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																																																	
指標 ①		団体	27	28	27	27	☀ (横ばい)																																																	
評 価	【市民自治支援課】																																																							
	<状況> 防犯活動を行っている区・自治会や団体の数は27団体で、基準値と同数となり、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して防犯協会による防犯パトロールの実施や、広報さんむに毎月防犯情報を掲載するなどの広報啓発活動等を継続して行ったことにより、各地域の防犯意識が保たれ、団体数が維持されたものと考えます。		(団体) <table><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R01</td><td></td><td></td><td>28</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R02</td><td></td><td></td><td></td><td>27</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R03</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>28</td><td></td></tr><tr><td>R04</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>27</td></tr></tbody></table>					年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	基準	27						H30		27					R01			28				R02				27			R03					28		R04						27
年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04																																																		
基準	27																																																							
H30		27																																																						
R01			28																																																					
R02				27																																																				
R03					28																																																			
R04						27																																																		
							☁ (横ばい)																																																	
							達成 状況																																																	
							🏰 (達成)																																																	

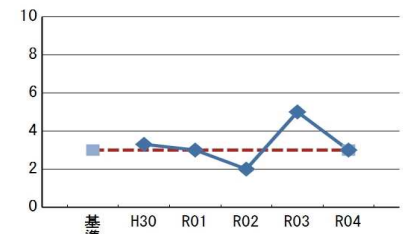
基本事業03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備

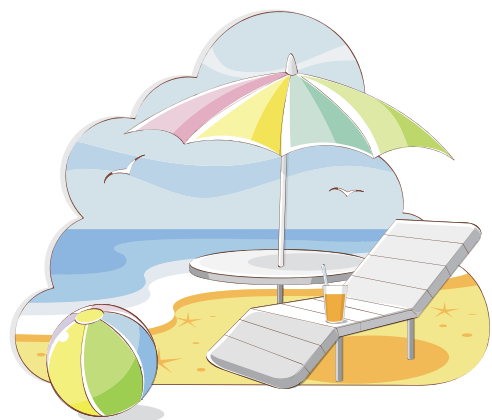
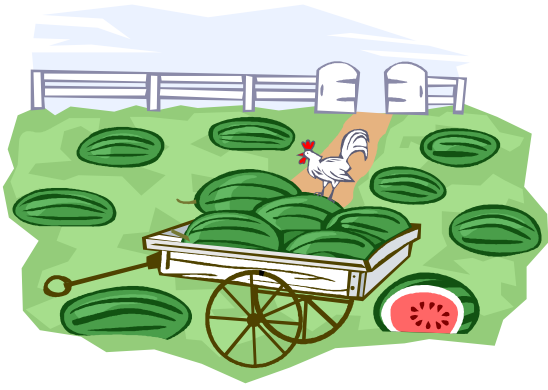
指標①	防犯灯設置要望対応率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																																																	
	【市民自治支援課】	%	100	100	100	100																																																		
評価	<状況> 防犯灯設置要望対応率は100%で、基準値と同率となり、めざそう値100%を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、区からの要望に対し、現地確認を行い設置基準に基づき区長と協議を行いながら適切に対応していることが要因です。	(%)  <table><caption>防犯灯設置要望対応率</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R01</td><td></td><td></td><td>100</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R02</td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R03</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>R04</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td></tr></tbody></table>					年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	基準	100						H30		100					R01			100				R02				100			R03					100		R04						100	(向上)  対前年度 (向上)  達成状況  (達成)
							年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04																																											
基準	100																																																							
H30		100																																																						
R01			100																																																					
R02				100																																																				
R03					100																																																			
R04						100																																																		

基本事業04 消費者トラブルの防止

指標①	消費者相談件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																																																	
	【商工観光課】	件	506	544	606	455																																																		
評価	<状況> 消費者相談件数は606件で、基準値と比較して100件増加し、めざそう値455件を上回り、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 本計画期間中の消費者を取り巻く環境の変化に伴い、消費生活相談の内容も複雑・多様化しました。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問販売等の接触型のトラブルは減少しましたが、非接触型のインターネット通販に係る相談等が増加したことが、原因として考えられます。	(件)  <table border="1"><caption>消費者相談件数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>506</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>506</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R01</td><td></td><td></td><td>544</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R02</td><td></td><td></td><td></td><td>606</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R03</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>544</td><td></td></tr><tr><td>R04</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>606</td></tr></tbody></table>					年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	基準	506						H30		506					R01			544				R02				606			R03					544		R04						606	(低下) 対前年度  (低下) 達成状況  (低)
		年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04																																																
基準	506																																																							
H30		506																																																						
R01			544																																																					
R02				606																																																				
R03					544																																																			
R04						606																																																		

基本事業05 交通安全意識の向上

指標 ①	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																																																	
	【市民自治支援課】	回	3	5	3	3	 (横ばい)																																																	
評 価	<状況> 1ヶ月当たりの交通安全啓発回数は3回で、基準値と同数となり、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、春・秋の全国交通安全運動週間のほか、夏・冬の交通安全運動週間等にも街頭監視等の啓発活動を継続して行ったことが原因です。	(回)  <table><caption>1ヶ月当たりの交通安全啓発回数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R01</td><td></td><td></td><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R02</td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R03</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td></td></tr><tr><td>R04</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr></tbody></table>					年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	基準	3						H30		3					R01			3				R02				5			R03					3		R04						3	 対 前年度
	年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04																																																	
基準	3																																																							
H30		3																																																						
R01			3																																																					
R02				5																																																				
R03					3																																																			
R04						3																																																		
							 (低下)																																																	
							 達成 状況																																																	
							 (達成)																																																	



【政 策】

3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

【施 策】

3-1 農林水産業の振興

3-2 商工業の振興と地域経済活性化

3-3 観光の振興

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 01 農林水産業の振興

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆農業従事者の高齢化及び後継者不足、コロナ禍における燃料費・肥料の価格高騰による生産コストの増加及び外食産業不振の影響による米価下落等、農業を取り巻く環境は厳しい状況です。

◆地域の中心的担い手である認定農業者の増加及び新規就農者の育成を図り、効率的農業の推進や補助事業等の積極的活用によるコスト削減を図ることにより、農業所得の向上を目指す必要があります。

◆農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化、耕作放棄地の解消及び農地基盤整備事業を活用し優良農地化を図り、効率的かつ生産性の高い農業を目指す必要があります。

◆林業者不足や溝腐病被害等によりサンブスギ林を中心とした森林の荒廃が進んでいます。特産品である「サンブスギ」の周知を図ることで、市内産木材の利用促進及び森林資源のエネルギー活用の仕組みづくりの検討を行う必要があります。

◆令和元年度に創設された森林環境譲与税の使い道について、森林整備や木材利用の促進など、山武市森林づくり審議会や各部会で検討を行う必要があります。

◆令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する新たな政策方針として、「みどりの食料システム戦略」が策定されました。本戦略では、2050年までに農林水産業のCO2ゼロエミッションの実現、化学農業や化学肥料の使用量の低減、有機農業の取組面積の拡大などの実現を目指すこととされています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
農業所得 百万円)	成果	668	470	☂ (低下)	☂ (低下)	○
森林整備年間実施面積 累計) ha)	成果	329.07	351.28	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	耕作面積 ha)	成果	2,905	2,901	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
01	家畜伝染病発生件数 酪農、養豚、養鶏) 件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	認定農業者数 人)	成果	364	366	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
02	青年等就農計画認定者数 人)	成果	14	17	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
03	農地中間管理集積面積 ha)	成果	359.8	397	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	産地化した品目の作付面積 ha)	成果	380.8	373.5	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
04	GAP等による取組人数 人)	成果	1,134	1,156	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
05	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数 箇所)	成果	5	5	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
06	森林整備事業年間実施箇所数 箇所)	成果	20	24	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
06	市補助制度を活用し、搬出された木材量 ㎥	成果	6,032.3	4,632.3	☀ (向上)	☂ (低下)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 01 農林水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 農林水産業従事者	・ 農業経営が安定し、所得額が増えます。 ・ 荒廃した森林が再生します。

施策の成果状況と評価

指標①	農業所得	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農政課】	百万円	1,393	668	470	1,599	☂ (低下)
評価	<状況> 農業所得は470百万円で、基準値と比較して923百万円減少し、めざそう値1,599百万円に1,129百万円届きませんでした。 <原因> 肥料、燃料費、飼料などの価格高騰により、経費が増加したことが農業所得減少の主な要因であると考えられます。	(百万円)					対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)
指標②	森林整備年間実施面積（累計）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農政課】	ha	237.72	329.07	351.28	297.12	☀ (向上)
評価	<状況> 森林整備年間実施面積（累計）は351.28haで、基準値と比較して113.56ha増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、令和元年房総半島台風被害により、国庫補助事業として大々的に展開されたことや、市内の林業事業体の増加により計画的な森林整備ができたことに加え、新たに浦安市との協定により、3.55haの間伐を実施したことが主な要因であると考えられます。	(ha)					対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 経営の安定化の推進

基本事業 02 担い手の育成・支援

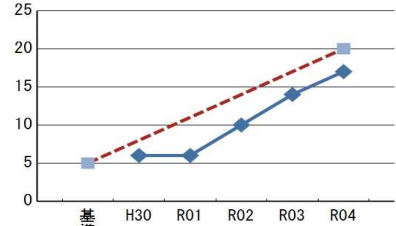
基本事業 03 農地の利用集積の推進

基本事業 04 農産物の付加価値向上と販路の拡大

基本事業 05 農業基盤整備の推進

基本事業 06 森林再生の推進

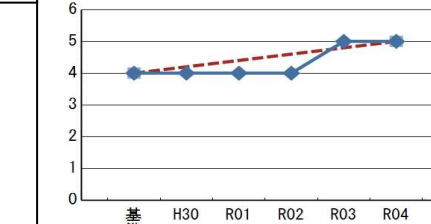
基本事業02 担い手の育成・支援

指標②	青年等就農計画認定者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値	
		人	5	14	17	20	☀	
評価	【農政課】		(人)					(向上)
	<状況> 青年等就農計画認定者数は17人で、基準値と比較して12人増加しましたが、めざそう値20人には届きませんでした <原因> 青年等就農計画を認定された新規就農者については、就農直後の経営開始資金や青年等就農資金の交付など有効な支援を受けられる反面、認定には、年齢、従事日数、所得目標など高い基準が定められており、あえて回避する新規就農者もいることが原因と考えられます。							☀ 対前年度
								☀ (横ばい)
								達成状況
								■■ (中)

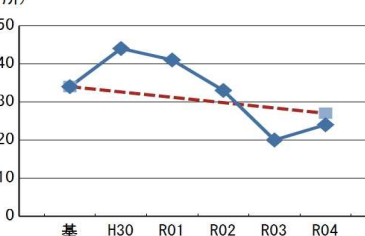
基本事業03 農地の利用集積の推進

指標①	農地中間管理集積面積	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農政課】	h a	111	359.8	397	281	
評価							(向上)
	<状況> 農地中間管理集積面積は397.0haで、基準値と比較して286.0ha増加、前年度と比較して37.2ha増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 令和元年度に実施した、ほ場整備事業に伴い、大規模な農地の集積・集約化をしていることが主な要因です。なお、その他の地域でも担い手や地権者に本制度の趣旨が理解され、制度を活用する方が増加しています。						対前年度
							(向上)
値							達成状況
							(達成)

基本事業05 農業基盤整備の推進

指標①	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農政課】	箇所	4	5	5	5	☀ (向上)
評価	(箇所)						
							
	対前年度						
	☀ (横ばい)						
	達成状況						
	🏰 (達成)						

基本事業06 森林再生の推進

森林整備事業年間実施箇所数		単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値															
指標①	【農政課】	箇所	34	20	24	27	☔															
		(箇所)					(低下)															
評価	<状況> 森林整備事業年間実施箇所数は24箇所、基準値と比較して10箇所減少、前年度と比較して4箇所増加しましたが、めざそう値に3箇所届きませんでした。 <原因> 災害に強い森づくり事業について、施業面積が広いため、実施箇所は3箇所となっています。 令和4年度に新たに浦安市との協定により、自治体連携森林整備事業として6箇所の森林整備を実施することができました。					 <table border="1"><caption>森林整備事業年間実施箇所数推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実施箇所数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>34</td></tr><tr><td>H30</td><td>34</td></tr><tr><td>R01</td><td>44</td></tr><tr><td>R02</td><td>34</td></tr><tr><td>R03</td><td>20</td></tr><tr><td>R04</td><td>24</td></tr></tbody></table>		年度	実施箇所数	基準	34	H30	34	R01	44	R02	34	R03	20	R04	24	☔ 対前年度
								年度	実施箇所数													
								基準	34													
								H30	34													
R01	44																					
R02	34																					
R03	20																					
R04	24																					
	(横ばい)																					
	達成状況																					
	■■ (低)																					

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 02 商工業の振興と地域経済活性化

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆郊外型の大・中規模小売店舗等が進出し、既存小売店に大きな影響を及ぼすとともに、後継者不足も相まって、旧来の商店街では空き店舗が多数発生しています。地域ならではの魅力を高める取り組みを通じて、商店街の連携強化とまちの活性化を図ることが求められています。

◆山武市中小企業振興基本条例（平成30年4月1日施行）に基づき、地元中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための施策を推進します。

◆市商工会を通じた支援策を継続的に行うとともに、人口減少や急激な社会環境の変化に対応できる、レジリエンスな地域経済の実現に向けた「エコノミックガーデニング」の推進により、地元企業が長生きして繁栄するビジネス環境の構築に取り組みます。

◆燃料及び物価高騰が地域経済に大きな影響を与えており、状況に応じた経済活性化支援策が求められています。

◆成田空港の機能強化に併せて、他団体との連携を強化し、空港の発展を市の発展に結びつける取組を推進する必要があります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
法人市民税額 百万円)	社会	329	406	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内で日用品や食料品を買う市民の割合 (%)	成果	67.5	65.9	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
02	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数) (%)	成果	43.5	42.6	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
02	新規法人登録件数 件)	社会	147	175	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数 社)	社会	177	205	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	市内事業所数 社)	成果	1,669	-	---	---	
03	市内従業者数 人)	社会	15,458	-	---	---	○
04	成田空港周辺自治体としての取組件数 件)	代替	6	6	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
04	成田空港関連の市内従業員数 人)	社会	—	—	---	---	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 02 商工業の振興と地域経済活性化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 商工会 ・ 商工業者	・ 地域経済が活性化されます。

施策の成果状況と評価

指標①	法人市民税額	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																																			
	【商工観光課】	百万円	349	329	406	297	☀ (向上)																																			
評価	<状況> 法人市民税調定額は、406百万円で、基準値と比較して57百万円増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、令和4年度において法人市民税調定額は406百万円で、基準年から増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も徐々に緩和し、全体的な経済活動が少しずつ回復していることが要因と考えられます。		(百万円) <table><caption>法人市民税調定額実績値とめざそう値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値 (R03)</th><th>実績値 (R04)</th><th>めざそう値 (R04)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>349</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td>349</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R01</td><td>349</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R02</td><td>300</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R03</td><td>300</td><td>329</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R04</td><td>297</td><td></td><td>406</td><td>297</td></tr></tbody></table>				年度	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	基準	349				H30	349				R01	349				R02	300				R03	300	329			R04	297		406	297	対前年度 ☀ (向上)
	年度	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)																																					
基準	349																																									
H30	349																																									
R01	349																																									
R02	300																																									
R03	300	329																																								
R04	297		406	297																																						
							達成状況 🏰 (達成)																																			

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内消費の向上

基本事業 02 経営体の体質強化・育成

基本事業 03 企業立地と企業定着による雇用の推進

基本事業 04 成田空港経済圏の形成

基本事業01 市内消費の向上

指標①	市内で日用品や食料品を買う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	%	71.1	67.5	65.9	72
評価	<状況> 市内で日用品や食料品を買う市民の割合は65.9%で、基準値と比較して5.2ポイント減少し、めざそう値72.0%を達成できませんでした。 <原因> 本計画期間を通して、経済対策として市内でしか利用できないクーポン券の発行や商店街の活性化事業などを展開してきましたが、すべての年齢層において地元の商店街を利用する人が減少していることが要因と考えられます。						(低下)
		対前年度					(横ばい)
		達成状況					(低)

基本事業02 経営体の体質強化・育成

指標②	新規法人登録件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	件	80	147	175	82
評価	<状況> 新規法人登録件数は175件で、基準値と比較して95件増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 度重なる自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響により新たな事業に取り組まなければならない状況があるほか、外国籍事業者の増加が主な要因として考えられます。						(向上)
		対前年度					(向上)
		達成状況					(達成)

基本事業03 企業立地と企業定着による雇用の推進

指標②	市内従業者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【商工観光課】	人	15,332	15,458	-	15,332
評価	<状況> 本計画期間の最終実績値は令和3年経済センサス活動調査になり、市内従業者数は15,458人で、基準値を126人上回り、めざそう値15,332人を達成しました。 <原因> 令和3年経済センサス活動調査の結果では、「卸売業、小売業」、「宿泊、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」の従業者が大幅に減少したのに対し、「医療、福祉」、「不動産業、物品賃貸業」の従業者が大幅に増加しており、市内には増加となった職種の事業所が多かったことが要因と考えられます。						---
		対前年度					---
		達成状況					(達成)

基本事業04 成田空港経済圏の形成

指標①	成田空港周辺自治体としての取組件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		【企画政策課】	件	7	6	6	9
評価	<状況> 成田空港周辺自治体としての取組件数は6件で、基準値と比較して1件減少、めざそう値と比較して3件減少し、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 本計画期間の途中で地方創生推進交付金の事業期間が終了し、地方創生推進交付金計画の継続が認められなかったため新規事業の追加ができなかったことが原因と考えられます。						(低下)
		対前年度					(横ばい)
		達成状況					(中)

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 03 観光の振興

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆国内外問わず、近年のトレンドは「団体」から「個人」へ、「物見遊山型」から「体験型」観光へと変化しています。また、宿泊者数は、平成27年の91,163人をピークに減少しており、魅力あるイベントの開催、ニーズに合った観光メニューや滞在時間の長時間化を見据えた観光ルートの造成が必要です。

◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、近年は大型イベントが開催中止となっています。

◆東日本大震災後に激減した海水浴客数は、平成27年に約11万人まで達しましたが、近年の気候変動の影響もあり、震災前の約半数に留まっています。対策として、常設トイレのある本須賀海水浴場において、2019年から継続的に取得している国際環境認証ブルーフラッグの更新を目指すとともに、その他の海水浴場においても安全で安心な環境の確保と適切な施設管理を行い、海水浴のイメージアップを図ります。また、サーフィンやビーチスポーツ等、夏季以外の利用を促進します。

◆市内の豊かな自然環境（海岸等）やグルメを求めて、多くの愛犬家が来訪するようになっています。

◆NPO法人山武市観光協会ホームページやツイッター等のSNSを活用し、若年層に向けた観光情報発信を行います。また、電話や来訪での対応窓口である成東駅前観光案内所で、適切な案内が行われるように努めます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
年間観光客入込数 人	成果	1,507,284	1,661,260	☂ (低下)	☀ (向上)	○
年間宿泊観光客数 人	成果	44,988	49,600	☂ (低下)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	イベントの来場者数 人	成果	-	-	---	---	
01	広域(県)、民間事業者との連携事業数 件	成果	3	16	☂ (低下)	☀ (向上)	○
01	体験型観光客数 人	成果	196,209	252,966	☂ (低下)	☀ (向上)	○
02	観光施設(海水浴場)の利用者数 人	成果	-	47,370	☂ (低下)	---	○
02	観光施設の維持管理上の不具合件数 件	成果	1	2	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	観光案内所利用件数 件	成果	7,018	9,729	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	観光協会HP等の閲覧数 人	成果	96,020	112,371	☀ (向上)	☀ (向上)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 03 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
- 観光客 - 市民	観光客が増加し、市の魅力が高まります。

施策の成果状況と評価

指標①	年間観光客入込数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値													
	【商工観光課】	人	2,030,557	1,507,284	1,661,260	2,081,000	☂ (低下)													
評価	<状況> 年間観光客入込数は1,661,260人で、基準値と比較して369,297人減少し、めざそう値の2,081,000人に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったため、主要な観光施設である道の駅オライはすぬまや市内いちご園、蓮沼海浜公園等の入込数が伸び悩んでおり、令和3年度以降回復の傾向にありますが、コロナ禍前の水準には戻っていないことが要因と考えます。		(人) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>年間観光客入込数 (人)</td><td>2,030,557</td><td>2,000,000</td><td>1,900,000</td><td>1,350,000</td><td>1,450,000</td><td>1,661,260</td></tr></tbody></table> 対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (低)				項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	年間観光客入込数 (人)	2,030,557	2,000,000	1,900,000	1,350,000	1,450,000	1,661,260
	項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04													
年間観光客入込数 (人)	2,030,557	2,000,000	1,900,000	1,350,000	1,450,000	1,661,260														

指標②	年間宿泊観光客数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値													
	【商工観光課】	人	82,019	44,988	49,600	82,800	☂ (低下)													
評価	<状況> 年間宿泊者数は49,600人で、基準値と比較して32,419人減少し、めざそう値82,800人には届きませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、宿泊者数が大幅に減少しています。しかし、海水浴場を開設したこともあり、海岸地域の宿泊施設の宿泊者数は回復傾向にあります。今後は、観光協会宿泊部会が中心となって誘客促進と再訪に繋げるニューツーリズム事業を展開します。		(人) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>年間宿泊観光客数 (人)</td><td>82,019</td><td>85,000</td><td>80,000</td><td>45,000</td><td>45,000</td><td>49,600</td></tr></tbody></table> 対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (低)				項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	年間宿泊観光客数 (人)	82,019	85,000	80,000	45,000	45,000	49,600
	項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04													
年間宿泊観光客数 (人)	82,019	85,000	80,000	45,000	45,000	49,600														

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

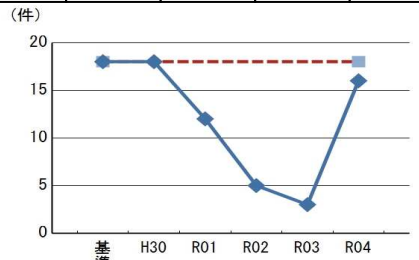
□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 魅力ある観光事業の推進

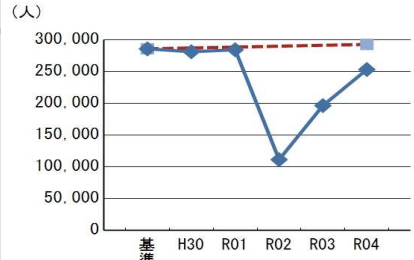
基本事業 02 海岸を活用した観光推進

基本事業 03 観光情報の発信

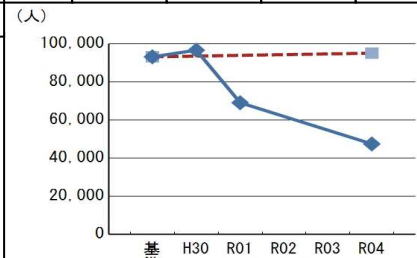
基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標②	広域(県)、民間事業者との連携事業数	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
		件	18	3	16	18	
評価	【商工観光課】						(低下)
	<状況> 民間事業者との連携事業数は16件で、基準値と比較して2件減少し、めざそう値に届きませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、比較的小規模の観光PRイベントに積極的に参加するとともに、感染リスクが低いサイクルイベント等を開催しましたが、実行委員会と連携し開催予定のサマーカーニバルや産業まつり等の大型イベントが中止になったことが要因です。	(件)					対前年度
							(向上)
							達成状況
							 (低)

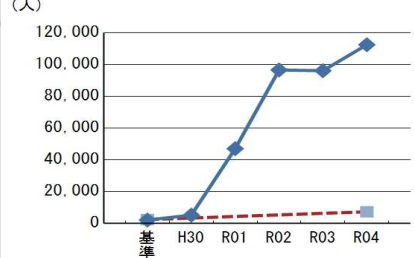
基本事業01 魅力ある観光事業の推進

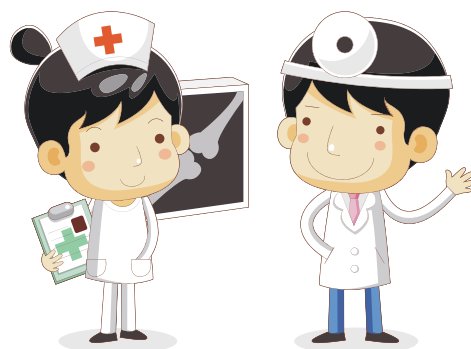
指標③		体験型観光客数	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
			人	285,510	196,209	252,966	292,500	☂ (低下)
【商工観光課】			(人)					対前年度
評価	<状況> 体験型観光客は252,966人で、基準値と比較して32,544人減少し、めざそう値に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等により、いちご狩りに訪れる観光客数が減少しています。観光客数は回復の傾向にありますが、コロナ禍前の水準には戻っていないことが要因です。							☀ (向上)
								達成状況
値								■■ (低)

基本事業02 海岸を活用した観光推進

指標 ①	観光施設（海水浴場）の利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値								
		人	93,087	-	47,370	95,000									
評 価	【商工観光課】 （人）  <table border="1"><caption>観光施設（海水浴場）の利用者数推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>利用者数（人）</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>93,087</td></tr><tr><td>H30</td><td>93,087</td></tr><tr><td>R01</td><td>68,000</td></tr><tr><td>R02</td><td>65,000</td></tr><tr><td>R03</td><td>55,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>47,370</td></tr></tbody></table> （低下） 対 前年度 --- 達成 状況 ■■■ （低）	年度	利用者数（人）	基準	93,087	H30	93,087	R01	68,000	R02	65,000	R03	55,000	R04	47,370
		年度	利用者数（人）												
		基準	93,087												
		H30	93,087												
R01	68,000														
R02	65,000														
R03	55,000														
R04	47,370														

基本事業03 観光情報の発信

指標②	観光協会HP等の閲覧数	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値														
	【商工観光課】	人	2,294	96,020	112,371	7,200	☀ (向上)														
評価	<状況> 観光協会HP等の閲覧数は112,371人で、基準値と比較して110,077人増加し、めざそう値7,200人を達成しました。 <原因> ホームページ閲覧数は情報発信を充実させたことにより、大幅に増加しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、観光目的で本市へ来訪しようと情報収集する方が増加したものと考えます。	(人)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2,294</td></tr><tr><td>H30</td><td>2,294</td></tr><tr><td>R01</td><td>2,294</td></tr><tr><td>R02</td><td>45,000</td></tr><tr><td>R03</td><td>95,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>112,371</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	2,294	H30	2,294	R01	2,294	R02	45,000	R03	95,000	R04	112,371	☀ 対前年度 (向上)
							項目	値													
基準	2,294																				
H30	2,294																				
R01	2,294																				
R02	45,000																				
R03	95,000																				
R04	112,371																				
値							☀ (達成状況)														
							🏰 (達成)														



【政 策】

4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

【施 策】

4-1 高齢者福祉の充実

4-2 障がい者(児)福祉の充実

4-3 健康づくりの推進

4-4 子育ての支援

4-5 地域福祉の充実とセーフティーネットの推進

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 01 高齢者福祉の充実

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆本市は、65歳以上の高齢者数が年々増加傾向にあり、高齢化が進展しているため、高齢者が住み慣れた地域で健康で自分らしく住み続けられるような環境づくり（地域包括ケアシステム）を行うことが求められています。

◆そのため、介護予防に積極的に取り組み、要支援・要介護状態にならないよう心身ともに健康で過ごし、生きがいをもって社会参加ができるような仕組みを構築し、推進していきます。

◆介護保険制度や介護保険サービスの周知や理解が不足しています。また、介護サービス事業所における有資格者の確保が困難な状況となっています。

◆そのため、介護保険制度を広く周知するとともに、マンパワーを充足させる施策を推進し、併せて地域支援事業等において各介護保険サービスの充実を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合（％）	成果	96.1	95.9	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
介護保険サービスの満足度（％）	成果	80.6	76.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	社会参加している高齢者の割合（％）	成果	29.2	33.6	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
01	生きがいを持っている高齢者の割合（％）	成果	43.1	40.5	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	新規要支援 新規要介護認定者の割合（％）	成果	3.9	3.8	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
02	介護給付サービス利用率（居宅）（％）	成果	60.4	62	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	施設入所待機率（％）	成果	8	5.4	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	相談先がある高齢者の割合（％）	成果	78.1	73.3	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
04	介護保険料収納率（現年度）（％）	成果	98.85	99	☀ (向上)	☀ (横ばい)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 01 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・65歳以上の市民（高齢者） ・介護保険被保険者（40歳以上）	・高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスが受けられ、地域生活が送れます。

施策の成果状況と評価

指標①	65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	96.3	96.1	95.9	97	☁ (横ばい)
評価	<状況> 65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合は95.9%で、基準値と比較して0.4ポイント減少し、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 介護予防や健康教室（運動教室）等を実施し、健康で暮らせる状況づくりに努めましたが、新規の認定者が想定よりも増加したことで、介護認定を受けずに生活している高齢者の割合が減少した要因と考えられます。						対前年度 ☁ (横ばい)
							達成状況 ■■■ (低)
指標②	介護保険サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	75.6	80.6	76.9	77	☀ (横ばい)
評価	<状況> 介護保険サービスの満足度は76.9%で、基準値と比較して1.3ポイント増加、前年度と比較して3.7ポイント減少となり、めざそう値には届きませんでした。 <原因> 介護保険制度や介護サービスについて周知を行ってきましたが、制度が複雑であることや、介護度により利用出来ないサービスもある事が、減少した要因と考えられます。引き続き、わかりやすい周知に努めます。						対前年度 ☁ (横ばい)
							達成状況 ■■■ (高)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生きがいづくりと介護予防の推進

基本事業 02 介護サービス・日常生活の支援

基本事業 03 安全・安心な生活への仕組みづくり

基本事業 04 介護保険制度の安定的な運用

基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標①	社会参加している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	35.7	29.2	33.6	40	☁ (横ばい)
評価	<状況> 社会参加している高齢者の割合は33.6%で、基準値を2.1ポイント下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルス感染症対策としての外出自粛があったことや、通い・集い・交流の場の休止など、社会参加の機会が減少した要因と考えられます。						☀ (横ばい)
		(%) 対前年度 達成状況 ■ (低)					

基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標②	生きがいを持っている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	41.5	43.1	40.5	50	☁ (横ばい)
評価	<状況> 生きがいを持っている高齢者の割合は40.5%で、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 生きがいを感じることは、本計画期間を通じ「趣味・娯楽」が最も高い割合を占めていますが、全体に占める割合に有意な変化は見られませんでした。一方で、ゴールドクラブについては、コロナ禍により思うような活動ができなかったことや、会員の高齢化による担い手不足により、組織数・登録人数共に減少しており、指標値が減少した要因と考えられます。						☁ (横ばい)
		(%) 対前年度 達成状況 ■ (低)					

基本事業02 介護サービス・日常生活の支援

指標①	介護給付サービス利用率（居宅）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	59.2	60.4	62	60	☀ (向上)
評価	<状況> 介護給付サービス利用率（居宅）は62.0%で、基準値と比較して2.0ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 介護保険制度の認識が進んだことと高齢化により、新規申請が増加しています。アンケート結果では72%の方が住み慣れた自宅での生活を望んでおり、居宅サービス利用が増加していると考えられます。						☀ (向上)
		(%) 対前年度 達成状況 🏰 (達成)					

基本事業03 安全・安心な生活への仕組みづくり

指標①	相談先がある高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	76.2	78.1	73.3	78.4	☁ (横ばい)
評価	<状況> 相談先がある高齢者の割合は73.3%で、基準値を2.9ポイント下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> アンケート結果では、相談先は家族や友人、医療機関といった回答が多いため、一人暮らし等が増加していることで相談する機会がない方が増えていることが原因と考えられます。						☁ (横ばい)
		(%) 対前年度 達成状況 ■ (低)					

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 02 障がい者（児）福祉の充実

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆平成23年8月に「障害者基本法」が改正され、障がいの有無に関わらず人格と個性を尊重する共生社会の実現を目指すことが掲げられています。

◆加えて、平成30年4月には「障害者総合支援法」が改正され、障がい者自ら望む地域生活を営む事ができるよう生活と就労に関する支援の一層の充実を図るとともに、児童福祉法の一部改正により、発達支援が必要な児童のニーズにきめ細かく対応するための支援の充実を図ることとしています。

◆障がい者の高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障がい者（児）の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築として、地域生活支援拠点の整備が必要とされています。

◆精神障がい者が、地域で安心して自分らしい暮らしができるよう、医療・障害福祉・介護・社会参加・住まい・地域の助け合い・教育が包括的に確保された、保健所圏域における「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）（％）	成果	1.88	2.18	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
在宅で生活している障がい者の割合（％）	代替	97.2	97.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自立支援給付サービスの利用者数（人）	成果	735	747	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	地域生活支援事業（地域活動支援センターⅠ型）での相談件数（件）	代替	2,322	-	---	---	
02	医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数（人）	代替	1,580	1,655	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
03	就労移行支援事業等のサービスを利用した障がい者数（人）	成果	24	24	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	社会参加促進事業サービス利用割合（％）	成果	36.8	33.6	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
04	就学前の障がい児通所支援の利用者数（人）	成果	66	58	☀ (向上)	☂ (低下)	
04	切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数（回）	代替	8	11	☀ (向上)	☀ (向上)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 02 障がい者（児）福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 障がい者等	・ 障がい者（児）がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

施策の成果状況と評価

指標①	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【社会福祉課】	%	1.52	1.88	2.18	2.2	☀ (向上)
評価	<状況> 就業している障がい者の割合は2.18%で、基準値より向上しましたが、めざそう値には届きませんでした。 <原因> 障害者の新規採用者はいますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、障害者雇用を行っている企業の増加がなく、採用増加につながらない状況です。また、障がい者就労は職場定着やフルタイムを希望せず、短時間で働くことを選択する方が多く見られることも要因と考えられます。						対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (高)
指標②	在宅で生活している障がい者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【社会福祉課】	%	97.2	97.2	97.1	97.4	☁ (横ばい)
評価	<状況> 在宅で生活している障がい者の割合は97.1%で基準値より0.1%減少し、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 生活訓練や居宅介護サービス等の利用促進に努めているため、基準値やめざそう値は下回ってしまいましたが、対象者はほとんど固定されているため、近い数値で成果を維持していると考えます。						対 前年度
							☁ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 自立支援サービスの促進

基本事業 02 地域生活支援の基盤づくり

基本事業 03 社会活動参加の促進

基本事業 04 児童発達支援の充実

基本事業01 自立支援サービスの促進

指標①	自立支援給付サービスの利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	489	735	747	540	☀ (向上)
評価	<状況> 自立支援給付サービスの利用者数は747人となり、基準値より向上し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、各種手帳交付の際に自立支援給付サービスの説明を行い、周知に努めたことにより、成果が向上したと考えられます。						☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標②	医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	1,560	1,580	1,655	1,610	☀ (向上)
評価	<状況> 医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数は1,655人となり、基準値より95人増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 医療費助成制度の周知に取り組んだことで、対象となる者が増加したと考えられます。						☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業03 社会活動参加の促進

指標②	社会参加促進事業サービス利用割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	%	58.7	36.8	33.6	70	☔ (低下)
評価	<状況> 社会参加促進事業サービス利用割合は33.6%となり、基準値より25.1%悪化し、基準値を下回り、めざそう値には届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルス感染症予防措置のため、外出や移動を自粛する傾向であったため福祉タクシーの利用やコミュニケーション支援事業による手話通訳者等は件数が減少したと考えられます。						☔ (低下)
							☔ (低下)
							☔ (達成)
							☔ (低)

基本事業04 児童発達支援の充実

指標②	切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	回	0	8	11	8	☀ (向上)
評価	<状況> 切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数は11回で、基準値より向上し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間で、切れ目のない子ども・子育て支援の情報共有の場であるトータルサポート会議を設置し、関係機関と協議を行う制度構築を行えたことによるものです。						☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆がん、心臓病、脳卒中は市の死因の53.6%を占め、国民健康保険の疾病別医療費分析によると、その原因となる可能性が高い疾病は、糖尿病や高血圧となっているため、生活習慣病の発症予防や重症化予防に対する対策を強化していく必要があります。

◆がんは死因順位1位であり、早期発見・早期治療のためには、がん検診受診率を向上させる必要があります。

◆市の自殺率（人口10万対）は、国、県と比較して高い状態が続いています。関係部署や関係機関と連携し、情報収集、情報共有を行い、個別支援につなげていくことが重要です。

◆市の子どものむし歯保有者数は、毎年県平均より高い状況にあるため、むし歯予防対策の充実に努める必要があります。

◆地域医療体制の充実に当たって、地方独立行政法人さんむ医療センターの整備と健全な運営を確保する必要があります。

◆国民健康保険一人あたり総医療費を減少させるためには、特定健康診査事業の受診率を向上させる必要があります。検診結果を理解し、健康意識向上につながる啓発や相談の強化を図る必要があります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
健康だと思ふ市民割合（％）	成果	75.7	75.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
生活習慣病死亡率（％）	成果	53.6	-	---	---	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中) 項目)	成果	3.92	3.75	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	特定健康診査受診率（％）	成果	27.2	33.7	☂ (低下)	☀ (向上)	○
02	がん検診を年1回受けている市民の割合（％）	成果	41.1	43.1	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
02	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合（％）	成果	33.1	-	---	---	
03	乳幼児健診の受診率（％）	成果	94.9	95.5	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	乳幼児健診の満足度（％）	成果	96.4	93.7	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
03	幼児（3歳）のむし歯保有者率（％）	成果	16.5	12.6	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	地域医療体制の充足度（％）	成果	65.3	61.3	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
05	1人当たりの総医療費（円）	成果	358,610	377,239	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
05	慢性腎不全、高血圧症、糖尿病の構成割合（％）	成果	28.5	27.1	☀ (向上)	☀ (向上)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 03 健康づくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

施策の成果状況と評価

指標①	健康だと思ふ市民割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	73.6	75.7	75.7	74	☀ (横ばい)
評価	<状況> 健康だと思ふ市民の割合は75.7%で、前年度と同数値となり、めざそう値を達成しました。 <原因> コロナ禍において、自宅で過ごすことが多くなったことで適度な運動などによる適正体重の維持、飲酒を控える、また、個人において、悩みをため込まない、ストレス発散をするなど、それぞれが心がけている傾向があることが原因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい)
							達成状況 🏠 (達成)
指標②	生活習慣病死亡率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	55.1	53.6	-	55	---
評価	生活習慣病死亡率は毎年2月以降に公表されるため、現時点で指標値の取得ができません。						対前年度 ---
							達成状況 ---

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 心身の健康管理の充実

基本事業 02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

基本事業 03 母子の健康管理

基本事業 04 医療体制の充実

基本事業 05 国民健康保険医療費の改善

基本事業01 心身の健康管理の充実

指標①	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
	【健康支援課】	項目	3.73	3.92	3.75	3.8	☀️ (横ばい)
評価	<状況> 1人当たりの健康づくり取組項目数は3.75項目で、基準値と比較して0.02項目増加していますが、前年度と比較すると0.17項目減少し、めざそう値には届きませんでした。 <原因> 本計画期間を通して、市民の健康づくりへの取組項目として、「主食、主菜、副菜のそろった食事をとる」「塩分を控える」といった食生活に関する項目が減少傾向にあります。コロナ禍で食事のテイクアウトが定着したことや、行動制限の緩和による外食の増加が要因になっていると考えます。						☀️ (横ばい)
							☀️ (横ばい)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標①	特定健康診査受診率	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
	【国保年金課】	%	34.8	27.2	33.7	36.4	☔️ (低下)
評価	<状況> 特定健康診査受診率は33.7%で、基準値と比較して1.1ポイント下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 本計画期間のうち、令和2年度から令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により、集団での健診を予約制として受診人数の制限を設けたこと、市民の感染予防意識による受診控えが要因と考えられます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

基本事業03 母子の健康管理

指標②	乳幼児健診の満足度	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	94.3	96.4	93.7	94	☁️ (横ばい)
評価	<状況> 乳幼児健診の満足度は93.7%で、基準値と比較して0.6ポイント下回り、めざそう値には届きませんでした。 <原因> 乳幼児健診の受診者数が増加したことや外国人が増えていることで以前より時間がかかったことが原因と考えられますが、アンケート結果を健診スタッフ全員で共有し、できる限りの時間短縮に努めました。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)

基本事業04 医療体制の充実

指標①	地域医療体制の充足度	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	55.1	65.3	61.3	57	☀️ (向上)
評価	<状況> 地域医療体制の充足度は61.3%で、基準値と比較して6.2ポイント増加、前年度と比較して4ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 <原因> 外科や眼科、救急診療などで充足を感じている方が増加しています。特に救急診療については、さんむ医療センターでの受入数が増加傾向にあることから、充足を感じる方が増加した要因と考えられます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 04 子育ての支援

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆共働きやひとり親家庭の増加に伴い、子育て支援のニーズが多様化しています。また、未満児（3歳児未満）の保育の需要が増加しています。市では認定こども園化を推進するとともに、多様なサービスへの体制づくりに努める必要があります。

◆子育てについての相談機関として「子育て世代包括支援センター」等、相談機関の体制づくりを行っています。

◆市では、子どもの医療費助成の対象年齢を拡大しており、引き続き保護者の経済的な負担軽減を図っていく必要があります。

◆学童クラブは、利用者の増加に伴い小学校の余裕教室確保が課題となります。また、放課後子ども総合プランにより学童クラブと放課後子ども教室を一体的あるいは連携して実施する総合的な放課後対策が課題となります。

◆若い世代を中心に、結婚・出産・子育ての希望が叶えられる環境づくりが必要になっています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合（％）	成果	93.4	92.4	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合（％）	成果	92.2	91	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率（％）	成果	82.9	80.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
01	就学前保育・教育に関する保護者の満足度（％）	成果	96	95.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合（％）	成果	98.6	97.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
02	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	成果	86.3	86	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
02	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（％）	成果	87.8	89.7	☁ (横ばい)	☀ (向上)	
02	各種子育て相談延べ件数（件）	代替	4,762	4,680	☀ (向上)	☁ (横ばい)	
03	子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数（人）	代替	64,652	66,823	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
03	ひとり親家庭の自立率（％）	成果	13.5	11.6	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
04	児童虐待通告件数（件）	成果	73	89	---	---	
04	児童に関する措置件数（件）	成果	0	0	---	---	
05	学童クラブの定員充足率（％）	成果	74.6	88.1	☀ (向上)	☀ (向上)	
06	出生者数(計画期間累計)（人）	成果	585	764	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
06	結婚する意欲のある独身者の割合（％）	成果	71.3	74	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 04 子育ての支援

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・児童（0～18歳未満） ・子育て家庭	安心して産む・育む等の子育て環境が整っているまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標①	子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	93	93.4	92.4	93	☁ (横ばい)
評価	<状況> 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合は92.4%で、基準値と比較して0.6ポイント減少し、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 子育て支援、母子保健等の事業を開催して、子育ての充実に努めておりますが、長引くコロナ禍において、子どもの感染の不安などが依然として残っていることなどが原因と考えられます。						対前年度 ☁ (横ばい)
							達成状況 ■■■ (低)

指標②	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	94.4	92.2	91	94.4	☔ (低下)
評価	<状況> この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合は91.0%で、基準値と比較して3.4ポイント減少し、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 子育てに関しては、保健師による育児相談、イベント等を開催し支援を行っているほか、子育て世帯応援給付金、妊婦支援給付金等の経済的支援も行ってありますが、子どもが安心して遊べる場所などの環境整備の充実、また、更なる経済的支援を求める声があることなどが原因と考えられます。						対前年度 ☁ (横ばい)
							達成状況 ■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業	01	幼保機能の充実
基本事業	02	子育て不安の軽減
基本事業	03	子育て家庭への援助
基本事業	04	こどもの人権の尊重
基本事業	05	学童保育の充実
基本事業	06	次世代育成に係る家族形成の支援

指標 ②	就学前保育・教育に関する保護者の満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	96.9	96	95.1	97	
評 価	<状況> 就学前保育・教育に関する保護者の満足度は95.1%で、基準値と比較して1.8ポイント減少し、基準値を下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により、園行事等縮小したこと、また保護者から十分な要望、意見等を聞くことが出来なかったことが低下の原因と考えられます。						(横ばい) 対 前年度 (横ばい) 達成 状況 ■■■ (低)

指標①	配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	99.2	98.6	97.2	99.2	☔
評価	<状況> 配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合は97.2%で、基準値と比較して2.0ポイント下回り、めざそう値にも届きませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により、配偶者や親族以外の方と接する機会が減少したことが原因と考えられます。						(低下) 対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)

指標 ②	ひとり親家庭の自立率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【子育て支援課】	%	4.3	13.5	11.6	4.3	対 前年度														
評価	＜状況＞ ひとり親家庭の自立率は11.6%で、基準値と比較して7.3ポイント増加、前年度と比較して1.9ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 令和3年度と比較して児童扶養手当受給者数は変わりませんでした。本人の所得制限額超過により全部支給停止となった方が6名減少したことによるものと思われます。	(%) <table border="1"> <caption>単独親世帯自立率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>自立率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>13.5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>13.5</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>13.5</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>11.6</td> </tr> </tbody> </table>					年度	自立率 (%)	基準	4.3	H30	13.5	R01	11.6	R02	13.5	R03	13.5	R04	11.6	(向上) 対 前年度 (横ばい) 達成 状況 (達成)
	年度	自立率 (%)																			
基準	4.3																				
H30	13.5																				
R01	11.6																				
R02	13.5																				
R03	13.5																				
R04	11.6																				

指標②	結婚する意欲のある独身者の割合	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値														
	【企画政策課】	%	80.2	71.3	74	80	☂														
評価	<状況> 結婚する意欲のある独身者の割合は74.0%で、基準値と比較して6.2ポイント減少し、めざそう値の80.0%には、届きませんでした。 <原因> 本計画期間の毎年度の評価を通して、10歳代20歳代の結婚意欲の低下が見受けられます。独身の理由では、「適当な相手にまだめぐり会わない」が多くを占めており、コロナ禍による対面機会の減少も結婚意欲の低下に影響していると考えられます。	<table border="1"> <caption>結婚する意欲のある独身者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>80.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>79.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>71.3</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>74.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	80.2	H30	80.0	R01	80.0	R02	79.0	R03	71.3	R04	74.0	(低下) 対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (高)
	年度	割合 (%)																			
基準	80.2																				
H30	80.0																				
R01	80.0																				
R02	79.0																				
R03	71.3																				
R04	74.0																				

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 05 地域福祉の充実とセーフティネットの推進

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆国では、社会的孤立や生活困窮等の問題も含め、子ども・高齢者・障がい者等、すべての人々が地域、暮らし、生きがいをともに創り、高めあうことができる「地域共生社会」の実現を目指した方向性を示しています。

◆平成30年4月に「社会福祉法」が改正され、地域住民が自ら、地域の様々な分野にわたる生活課題を把握し、その解決に向けて各種支援機関と連携しながら活動するということが、地域福祉の理念として掲げられました。一人でも多くの市民が地域活動に参加することのできる仕組みを整備し、活動の活性化を図ることが必要とされています。

◆生活保護受給者の増加に加え、非正規職員の労働者や低所得の給与収入者など、生活に困窮するリスクの高い層が増えています。

◆生活保護受給者数は、高齢化の進展等の社会情勢から、今後も増加が見込まれます。生活保護受給者の自立に向けた、個々の状況に応じた適切な援助、指導が必要です。

◆公営住宅については、長寿命化や今後の在り方を検討しながら、施設管理を行っています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合（％）	成果	—	—	---	---	○
生活保護率（‰）	代替	8.86	9.32	 (横ばい)	 (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合（％）	成果	17.3	14.5	 (横ばい)	 (横ばい)	○
01	福祉活動の市民活動団体の加入者数（人）	成果	1,448	1,549	 (向上)	 (向上)	○
02	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	成果	13,633	19,752	 (低下)	 (向上)	○
02	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数（日）	成果	65	75	 (低下)	 (向上)	
03	生活困窮者相談件数（件数）	成果	2,501	2,661	 (向上)	 (向上)	
04	自立による生活保護廃止件数（件）	成果	12	9	 (低下)	 (低下)	○
05	公営住宅入居率（％）	代替	86.27	82.35	 (低下)	 (低下)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

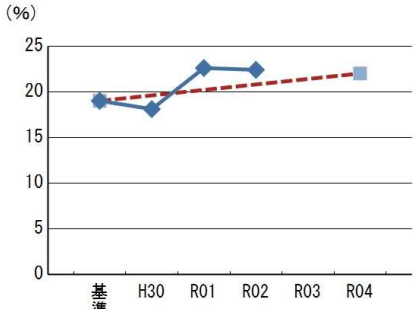
政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 05 地域福祉の充実とセーフティネットの推進

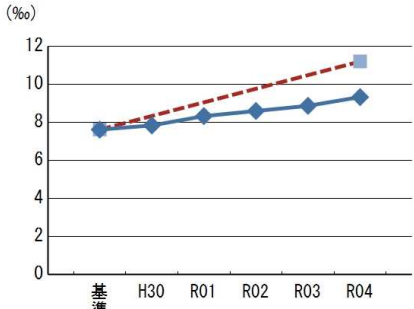
施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 生活困窮者	・ 地域で相互扶助できていると思う市民が増加します。 ・ 市民が経済的に安定した生活が送れます。

施策の成果状況と評価

指標①	地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	%	19	—	—	22	---
評価	次期計画策定に向けて、アンケートの設問を見直したため、指標値の取得ができませんでした。						対前年度

							達成状況

指標②	生活保護率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	‰	7.61	8.86	9.32	11.19	☁ (横ばい)
評価	<状況> 生活保護率は9.32‰であり、基準値と比較して1.71ポイント増加しましたが、めざそう値以下にとどまりました。 <原因> 本計画期間では、傷病・障害世帯及び高齢者世帯の被保護者が増加しましたが、生活困窮者自立支援事業の活用を進めたことが、生活保護率の上昇が抑えられた要因と考えられます。						対前年度
							☁ (横ばい)
							達成状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	地域福祉の担い手育成
基本事業	02	社会福祉機関・団体の充実
基本事業	03	生活困窮者自立支援の充実
基本事業	04	生活保護制度の適正な実施
基本事業	05	公営住宅の維持管理

基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標①	地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	11.3	17.3	14.5	12	☀ (横ばい)
評価	<状況> 地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合は14.5%で、基準値を3.2ポイント上回り、めざそう値を達成しました。 <原因> 社会福祉協議会を中心に気軽に参加できるボランティア事業が増加したことに加え、活動内容をPRしたことが要因と考えられます。						☀ (横ばい)
							☀ (達成)

基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標②	福祉活動の市民活動団体の加入者数 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	1,465	1,448	1,549	1,500	☀ (向上)
評価	<状況> 福祉活動にかかる市民活動団体の加入者数は1,549人で基準値より84人上回り、めざそう値を達成しました。 <原因> コロナ禍により、健康を意識したボランティア活動が活発になり、福祉活動の市民活動団体数が増加したことや、活動内容をPRしたことが要因と考えられます。						☀ (向上)
							☀ (達成)

基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標①	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	32,005	13,633	19,752	33,000	☔ (低下)
評価	<状況> 社会福祉協議会で実施した事業への参加者数は19,752人で、基準値を12,253人下回り、めざそう値に届きませんでした。 <原因> 本計画期間を通して、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業があることが要因と考えられます。						☀ (向上)
							☔ (低)

基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標①	自立による生活保護廃止件数 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		件	15	12	9	9	☔ (低下)
評価	<状況> 自立による生活保護廃止件数は9件で、基準値と比較して6件減少しましたが、めざそう値を毎年達成しました。 <原因> 生活保護世帯の9割以上が高齢者世帯、障害者世帯、傷病者世帯となっており、就労支援等による自立が可能なケースは限られていますが、ハローワークと連携して生活保護受給者等就労自立促進事業による就労支援に取り組んだことなどが要因と考えられます。						☔ (低下)
							☔ (達成)



【政 策】

5 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

【施 策】

5-1 学校教育の充実

5-2 生涯学習の推進

5-3 スポーツの振興

5-4 人権尊重のまちづくり

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 01 学校教育の充実

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆少子化により児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。
- ◆近年の教育課題として、経済格差から子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。
- ◆確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善を図る必要があります。
- ◆児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じる必要があります。
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてＩＣＴ機器の有効活用を図る必要があります。
- ◆社会全体で子どもたちを守り育むため、学校・家庭・地域が協力できる体制づくりを推進する必要があります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
学校生活に満足している児童の割合 (%)	成果	92	93.9	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
学校生活に満足している生徒の割合 (%)	成果	90.3	95.1	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	学力の向上が見られる児童の割合 (%)	成果	62	61.4	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	学力の向上が見られる生徒の割合 (%)	成果	55.3	46.9	☂ (低下)	☂ (低下)	○
01	中学校卒業時に英語検定 3級以上を取得している生徒の割合 (%)	成果	46.4	40.1	☀ (横ばい)	☂ (低下)	
02	生活習慣の改善に努めた生徒の割合 (%)	成果	15.9	18	☂ (低下)	☀ (横ばい)	
02	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合 (%)	成果	81.1	76.1	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
03	不登校児童の割合 (%)	成果	1.38	1.11	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	
03	不登校生徒の割合 (%)	成果	4.32	7.45	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
03	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合 (%)	成果	92.3	92.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合 (%)	成果	56.7	52.1	☂ (低下)	☂ (低下)	
04	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合 (%)	成果	47.8	38.8	☁ (横ばい)	☂ (低下)	
04	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合 (%)	成果	64	69.7	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	複式学級 (小学校) 及び単学級 (中学校) の出現数 (校)	成果	1	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
06	学校教育活動に協力した市民数 (人)	成果	498	431	☂ (低下)	☂ (低下)	
06	コミュニティ・スクール導入学校数 (校)	成果	4	6	☀ (向上)	☀ (向上)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
- 児童 - 生徒	学校生活に満足している児童生徒が増加します。

施策の成果状況と評価

指標①	学校生活に満足している児童の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子ども教育課】	%	95.2	92	93.9	95.2	☁ (横ばい)
評価	<状況> 学校生活に満足している児童の割合は93.9%で、基準値と比較して1.3ポイント低下し、めざそう値に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルスの感染によって制限がかかっていた学校行事を、感染状況が改善されるに従い、段階的に制限を解除しましたが、コロナ禍前の水準までは戻り切っていないことが、満足度が低下している原因だと考えます。	(%) 基準 H30 R01 R02 R03 R04					対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
	<状況> 学校生活に満足している生徒の割合は95.1%で、基準値より2.0ポイント向上し、めざそう値を達成しました。 <原因> 新型コロナウイルスの感染状況の改善に伴い、部活動や学校行事が再開されたことや、スクールカウンセラーの全校配置を実施し、中学生の心のケアを重点的に実施したことによって、満足した生徒の割合が上昇した要因と考えられます。	(%) 基準 H30 R01 R02 R03 R04					対前年度 ☀ (向上) 達成状況 🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

基本事業 01	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
基本事業 02	「健やかな体」の育成
基本事業 03	「豊かな心」を育む
基本事業 04	ICT教育の実践
基本事業 05	教育環境の整備
基本事業 06	地域と学校の協力体制の推進

指標①	学力の向上が見られる児童の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子ども教育課】	%	57.5	62	61.4	60	
評価	＜状況＞ 学力の向上が見られる児童の割合は61.4%で、基準値より3.9ポイント向上し、めざそう値60.0%を達成しました。 ＜原因＞ 本計画期間では、少人数指導の体制を整えられたことと、一人一台端末を活用した学習指導法の工夫により、個の習熟に応じた指導が可能になったことが要因であると考えます。						 対前年度 達成状況 達成

指標②	学力の向上が見られる生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【子ども教育課】	%	54.4	55.3	46.9	56	☂ (低下)														
評価	<状況> 学力の向上が見られる生徒の割合は46.9%で、基準値と比較して7.5ポイント低下し、めざそう値56.0%に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、少人数指導の体制を整えたり、一人一台端末を活用した学習指導法の導入などは実施していますが、検査対象の生徒たちには向上が見られるものの、暦年での結果において学力差が出てしまったことが要因であると考えられます。	<table border="1"> <caption>学力の向上が見られる生徒の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>54.4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>55.3</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>55.3</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>66.9</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>46.9</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>46.9</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	54.4	H30	55.3	R01	55.3	R02	66.9	R03	46.9	R04	46.9	対前年度 ☂ (低下)
	年度	割合 (%)																			
基準	54.4																				
H30	55.3																				
R01	55.3																				
R02	66.9																				
R03	46.9																				
R04	46.9																				
							達成状況 ■■■ (低)														

指標 ③	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【子ども教育課】	%	37.7	64	69.7	50	 (向上)
評価	<状況> 授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合は69.7%で、基準値と比較して32.0ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、ICT機器の活用方法について、ICT支援員等による研修を実施したことが原因と考えられます。						 (向上)
							 (向上)
							 (達成)

指標 ②	複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
	【教育総務課】	校	2	1	0	0	☀ (向上)																					
評価	<状況> 市内小中学校の複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数は0でめざそう値を達成しました。 <原因> 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（前期計画）に計画された学校の小規模化の解消に伴う4件の学校統合が全て終了したことが要因と考えられます。	(校) <table border="1"> <caption>複式学級出現数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>出現数</th> <th>めざそう値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>1</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>1</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>1</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	出現数	めざそう値	基準	2	2	H30	2	1.8	R01	1	1.2	R02	1	0.8	R03	1	0.4	R04	0	0	☀ (向上)
	年度	出現数	めざそう値																									
基準	2	2																										
H30	2	1.8																										
R01	1	1.2																										
R02	1	0.8																										
R03	1	0.4																										
R04	0	0																										
							対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)																					

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の
基本方針
及び
施策の
環境変化と
課題

◆市民の学習ニーズの多様化・高度化が進んでおり、これらのニーズに対応した講座の充実が求められています。

◆生涯学習施設利用者の高齢化・固定化が進んでいます。新たなニーズを模索し市民誰もが参加しやすい学習・文化事業の展開が必要です。

また、各施設については老朽化が進行しており、公共施設等総合管理計画に基づく、施設の適正配置及び維持管理が必要となっています。

◆市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件及び市90件の指定文化財があります。これらを周知・活用した学習機会を増やすことで、郷土愛の醸成につなげます。

◆芸術文化への関心が高まり、活動への新規参加者は増加傾向にあります。

一方で、郷土芸能活動をはじめとする伝統文化等の継承・保存は担い手不足等により困難になっています。

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機に、グローバル化が急速に進んでいます。

多文化交流・理解力・国際競争力が求められる中、広い視野を持つ人材の育成が必要です。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
生涯学習に取り組んでいる市民の割合 全般的) (%)	成果	26.3	26.8	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市主催の生涯学習講座の年間参加者数 人)	成果	1,142	556	☂ (低下)	☂ (低下)	○
01	自主クラブ登録数 グループ)	成果	111	109	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
02	生涯学習施設の利用者数 人)	成果	128,246	202,255	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	市民が認識している市内文化財数(全13項目) 項目)	成果	-	-	---	---	
03	文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数 人)	成果	5,302	3,474	☂ (低下)	☂ (低下)	
04	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合 (%)	成果	64.1	68.1	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
04	市主催の芸術文化事業への参加者数 人)	成果	2,602	4,088	☂ (低下)	☀ (向上)	○
04	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合 (%)	成果	28.2	22.3	☂ (低下)	☂ (低下)	
05	青少年育成事業 体験学習への児童・生徒参加者数 人)	成果	856	969	☂ (低下)	☀ (向上)	○
05	海外派遣事業応募者数 人)	代替	-	-	---	---	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 02 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 (主に学校教育を終了した市民)	・ 生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

施策の成果状況と評価

指標①	生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値															
	【生涯学習課】	%	30.8	26.3	26.8	33	☁ (横ばい)															
評価	<状況> 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)は26.8%で、基準値と比較して4.0ポイント減少し、めざそう値の33.0%に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、コロナ禍による施設の利用制限や事業の中止が影響し、大きく数値が減少したと考えられます。多少の回復傾向が見られたものの、趣味の多様化などにより、生涯学習活動に費やす時間が減ったことが、以前より低い数値で推移している原因と考えられます。			(%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合 (%)</td><td>30.8</td><td>28.3</td><td>26.3</td><td>22.3</td><td>26.8</td><td>26.8</td></tr></tbody></table>				年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	割合 (%)	30.8	28.3	26.3	22.3	26.8	26.8	対 前年度
								年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04								
割合 (%)	30.8	28.3	26.3	22.3	26.8	26.8																
							☀ (横ばい)															
							達成 状況															
							■■■ (低)															

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

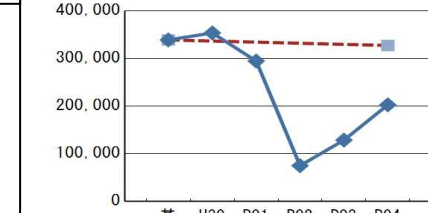
□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	主体的な学習の推進
基本事業 02	生涯学習施設の利用促進
基本事業 03	文化財の保護・活用
基本事業 04	芸術文化活動の充実
基本事業 05	青少年の育成

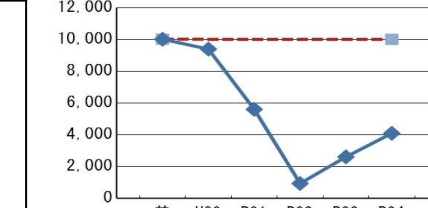
基本事業01 主体的な学習の推進

指標①	市主催の生涯学習講座の年間参加者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【公民館】	人	3,899	1,142	556	4,288	☂ (低下)														
評価	<状況> 市主催の生涯学習講座の年間参加者数は556人で、基準値と比較して3,343人減少し、めざそう値の4,288人に届きませんでした。 <原因> 本計画期間を通して、新型コロナウイルス感染症による施設利用の制限に伴い、講座回数の減少が主な要因と考えられます。	(人) <table><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>3,899</td></tr><tr><td>H30</td><td>3,343</td></tr><tr><td>R01</td><td>3,343</td></tr><tr><td>R02</td><td>1,142</td></tr><tr><td>R03</td><td>556</td></tr><tr><td>R04</td><td>556</td></tr></tbody></table>					年度	参加者数	基準	3,899	H30	3,343	R01	3,343	R02	1,142	R03	556	R04	556	☂ (低下)
		年度	参加者数																		
基準	3,899																				
H30	3,343																				
R01	3,343																				
R02	1,142																				
R03	556																				
R04	556																				
						☂ (低下)															

基本事業02 生涯学習施設の利用促進

指標①	生涯学習施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値												
	【文化会館】	人	338,515	128,246	202,255	326,900	☂ (低下)												
評価	<状況> 生涯学習施設の利用者数は202,255人で、基準値と比較して136,260人減少し、めざそう値の326,900人に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、コロナ禍の施設の利用制限等の影響により数値が減少した要因であると考えられ、施設の利用制限等の段階的な緩和とともに、数値も回復傾向にあります。	(人)					対前年度												
		 <table border="1"><caption>生涯学習施設の利用者数 (人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>利用者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>338,515</td></tr><tr><td>H30</td><td>338,515</td></tr><tr><td>R01</td><td>290,000</td></tr><tr><td>R02</td><td>80,000</td></tr><tr><td>R03</td><td>130,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>202,255</td></tr></tbody></table>					年度	利用者数	基準	338,515	H30	338,515	R01	290,000	R02	80,000	R03	130,000	R04
年度	利用者数																		
基準	338,515																		
H30	338,515																		
R01	290,000																		
R02	80,000																		
R03	130,000																		
R04	202,255																		
						達成状況													
						■ (低)													

基本事業04 芸術文化活動の充実

指標②	市主催の芸術文化事業への参加者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【文化会館】	人	10,010	2,602	4,088	10,000															
評価	<状況> 市主催の芸術文化事業への参加者数は4,088人で、基準値と比較して5,922人減少し、めざそう値の10,000人に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、コロナ禍の施設の利用制限等の影響により数値が減少した要因であると考えられ、施設の利用制限等の段階的な緩和とともに、数値も回復傾向にあります。	(人)  <table border="1"><caption>市主催の芸術文化事業への参加者数 (人) の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>10,010</td></tr><tr><td>H30</td><td>9,000</td></tr><tr><td>R01</td><td>5,000</td></tr><tr><td>R02</td><td>1,000</td></tr><tr><td>R03</td><td>2,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>4,088</td></tr></tbody></table>					年度	参加者数 (人)	基準	10,010	H30	9,000	R01	5,000	R02	1,000	R03	2,000	R04	4,088	(低下)
		年度	参加者数 (人)																		
基準	10,010																				
H30	9,000																				
R01	5,000																				
R02	1,000																				
R03	2,000																				
R04	4,088																				
																					
						(向上)															
						達成状況															
																					
						(低)															

基本事業05 青少年の育成

指標①	青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値														
	【生涯学習課】	人	4,102	856	969	3,482	☂ (低下)														
評価	<状況> 青少年育成事業等への児童・生徒の参加者数は969人で、基準値と比較して3,133人減少し、めざそう値の3,482人に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、コロナ禍による事業の中止等により、数値が減少し、再開となった事業も規模を縮小して開催されたものが多かったことで、従来の人数に回復できていないことが原因と考えられます。	(人) <table><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4,102</td></tr><tr><td>H30</td><td>2,500</td></tr><tr><td>R01</td><td>3,000</td></tr><tr><td>R02</td><td>500</td></tr><tr><td>R03</td><td>856</td></tr><tr><td>R04</td><td>969</td></tr></tbody></table>					年度	参加者数	基準	4,102	H30	2,500	R01	3,000	R02	500	R03	856	R04	969	☀ (向上)
	年度	参加者数																			
基準	4,102																				
H30	2,500																				
R01	3,000																				
R02	500																				
R03	856																				
R04	969																				
							達成状況														
							■ (低)														

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆新型コロナウイルス感染対策による施設利用や大会に中止が生じている中で、市民の自主的な活動制限などもあり、運動意欲が低下しているように感じられます。
- ◆各団体による市ホームページを活用した活動募集のPRや、高齢者や子供、観光などの担当課と協力したスポーツイベントの検討など、市民の声を反映した、より安全で魅力的なスポーツイベントの開催が必要であると考えられます。
- ◆公共施設総合管理計画に基づいた修繕や改修工事が求められています。スポーツ施設の適正化や老朽化に対応する必要があります。
- ◆公共スポーツ施設予約システムについては、利用より10年以上が経過している中で、千葉県では広域的なシステムの導入がされており、近隣でも加入している自治体があります。広域的な情報が共有できるものであれば、施設利用の向上が図れ、かつ財源の軽減が図れると考えます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
スポーツ活動に親しむ市民の割合（％）	成果	30.4	30.1	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	スポーツ大会 教室へ参加した市民の割合（％）	成果	5.9	6.3	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
01	スポーツ大会 教室の機会の充足度（％）	成果	65.1	68.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	スポーツ団体数 総合型地域スポーツクラブを含む（団体）	成果	48	49	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
02	体育関係団体の指導者数（人）	成果	76	88	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	体育施設の利用者数（人）	成果	71,523	110,587	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	体育施設の修繕件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

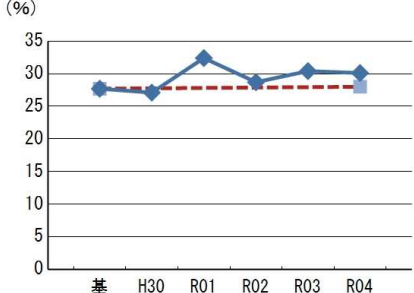
政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 03 スポーツの振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	スポーツ活動に親しむ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【スポーツ振興課】	%	27.7	30.4	30.1	28	☀ (横ばい)
評 価	<状況> スポーツ活動に親しむ市民の割合は30.1%で、基準値と比較して2.4ポイント増加し、めざそう値の28.0%を達成しました。 <原因> コロナ禍をきっかけに小人数で行うスポーツ活動等に親しむ市民の割合が増加していると考えられます。また、65歳以上の方で健康維持のためトレーニングジムに通ったり、ウォーキングや体操を行う方が多いことも要因と考えます。		(%) 				対 前年度
							☁ (横ばい)
							達成 状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ活動の充実

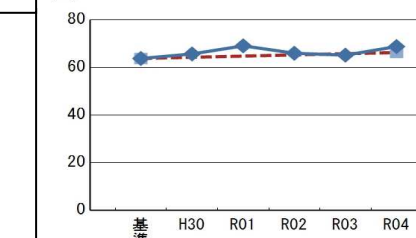
基本事業 02 体育関係団体・指導者の育成

基本事業 03 体育施設の利用促進

基本事業01 スポーツ活動の充実

指標①	スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																
	【スポーツ振興課】	%	14.4	5.9	6.3	14.6																	
評価	<状況> スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合は6.3%で、基準値と比較して8.1ポイント減少し、めざそう値の14.6%に届きませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の使用中止や使用制限があり、また、スポーツ大会や教室等の中止が相次いだことが要因と考えられます。	(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>14.4</td></tr><tr><td>H30</td><td>12.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>10.5</td></tr><tr><td>R02</td><td>6.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>5.9</td></tr><tr><td>R04</td><td>6.3</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>14.6</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	14.4	H30	12.5	R01	10.5	R02	6.3	R03	5.9	R04	6.3	めざそう値	14.6	
							項目	値 (%)															
基準	14.4																						
H30	12.5																						
R01	10.5																						
R02	6.3																						
R03	5.9																						
R04	6.3																						
めざそう値	14.6																						
							対前年度 (低下)																
							達成状況 (横ばい)																
							対前年度 (低下)																

基本事業01 スポーツ活動の充実

指標②	スポーツ大会・教室の機会の充足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																
	【スポーツ振興課】	%	63.7	65.1	68.7	66.2																	
評価	<状況> スポーツ大会・教室の充足度は68.7%で、基準値と比較して5.0ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間を通して、スポーツフェスタや出前講座等を通して軽スポーツ等の普及啓発に努めたことが要因と考えられます。	(%)  <table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>63.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>64.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>67.5</td></tr><tr><td>R02</td><td>66.5</td></tr><tr><td>R03</td><td>65.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>68.7</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>66.2</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	63.7	H30	64.5	R01	67.5	R02	66.5	R03	65.1	R04	68.7	めざそう値	66.2	 (横ばい)
							項目	値 (%)															
基準	63.7																						
H30	64.5																						
R01	67.5																						
R02	66.5																						
R03	65.1																						
R04	68.7																						
めざそう値	66.2																						
						 (横ばい)																	
						 (横ばい)																	
						 (達成)																	

基本事業02 体育関係団体・指導者の育成

指標②	体育関係団体の指導者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																
	【スポーツ振興課】	人	133	76	88	135	☂																
評価	<状況> 体育関係団体の指導者数は88人で、基準値と比較して45人減少し、めざそう値の135人に届きませんでした。 <原因> 少年スポーツクラブで活動している児童・生徒の保護者が指導者資格を取得するケースが多く、本計画期間では、コロナ禍の影響により活動が制限され、保護者の意欲が低下したことが原因であると考えられます。	(人) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>133</td></tr><tr><td>H30</td><td>125</td></tr><tr><td>R01</td><td>125</td></tr><tr><td>R02</td><td>70</td></tr><tr><td>R03</td><td>76</td></tr><tr><td>R04</td><td>88</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>135</td></tr></tbody></table>					項目	値 (人)	基準	133	H30	125	R01	125	R02	70	R03	76	R04	88	めざそう値	135	☂ (低下)
							項目	値 (人)															
基準	133																						
H30	125																						
R01	125																						
R02	70																						
R03	76																						
R04	88																						
めざそう値	135																						
						☀ (向上)																	
						達成状況																	
						■■ (低)																	

基本事業03 体育施設の利用促進

指標①		【スポーツ振興課】					対基準値
		単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	144,471	71,523	110,587	148,122	☂ (低下)
評価	<状況> 体育施設の利用者数は110,587人で、基準値と比較して33,884人減少し、めざそう値の148,122人に届きませんでした。 <原因> 基準値より大幅に減少した要因は、回復傾向にはあるものの、新型コロナウイルス感染症対策によって利用制限がかかったことで、施設利用への意欲が対策前と比較して低下していることによるものと考えられます。						対前年度
							☀ (向上)
値							達成状況
							■ (低)

(人)

項目	値 (人)
基準	144,471
H30	150,000
R01	140,000
R02	50,000
R03	71,523
R04	110,587
めざそう値	148,122

政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 04 人権尊重のまちづくり

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆LGBTや外国人の人権等、多様な人権問題への意識向上に向けて、人権教育・啓発活動を推進します。
- ◆多様な人権問題解決の糸口を見いだせるよう、人権相談窓口を開設します。
- ◆「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合」は、平成25年度以降、低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえない状況にあります。このため、平成31年度から運用を開始する「第3次山武市男女共同参画計画」において、積極的に男女共同参画に関連する施策を推進する必要があります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合（％）	成果	55.3	54.2	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合（％）	成果	19.7	17.7	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合（％）	成果	25.2	24.7	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合（％）	成果	8.5	11.3	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	人権侵害に対する措置件数（件）	代替	808	1,164	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	審議会などに女性委員が登用されている割合（％）	成果	25.7	27.3	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合（％）	成果	80.9	81.9	☀ (向上)	☀ (横ばい)	
03	男性が家事・育児に積極的に参加している割合（％）	成果	36.8	35.5	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 04 人権尊重のまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	- 誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。 - 男女の不公平感が解消され、女性の社会進出の促進が図られます。

施策の成果状況と評価

指標①	人権が尊重されているまちだと思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	45.7	55.3	54.2	48	☀ (向上)
評価	<状況> 人権が尊重されているまちだと思う市民の割合は54.2%で、基準値と比較して8.5ポイント上昇し、めざそう値を達成しました。 <原因> 人権擁護委員による小中学校での人権教室の実施や啓発活動により人権への意識が向上したほか、社会全体が多様性を尊重する社会に変化しつつあることが原因と考えます。						対前年度 (横ばい) 達成状況 (達成)

指標②	あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	21.8	19.7	17.7	25	☁ (横ばい)
評価	<状況> あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合は17.7%で、基準値と比較して4.1ポイント減少し、めざそう値の25.0%に届きませんでした <原因> 社会全体で男女共同参画に取り組む傾向にはなっていますが、アンケートの結果から、年齢別では10歳代が低く、職業別ではパートタイマー・アルバイトが低くなっており、若年層が持つ男女平等の考え方に見合っていないことや、依然として男女で職業の差があることが原因と考えられます。						対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 人権教育・人権啓発の推進

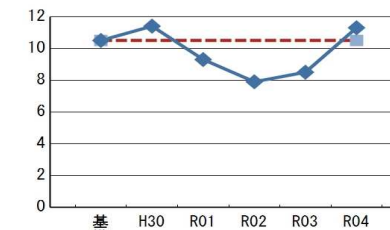
基本事業 02 人権擁護の推進

基本事業 03 男女共同参画の推進

基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標①	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【市民自治支援課】	%	24.3	25.2	24.7	24.3															
評価	<状況> この1年間に人権について学んだことのある市民の割合は24.7%で、基準値と比較し0.4ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> SDGsの基本目標にも人権に関する項目が複数あり、本計画期間を通して、社会活動で人権に触れる機会が増えたことや、市が主催する人権教室、ポスターや標語の募集などにより人権について学ぶ機会が提供されたことのほか、マスメディアなどを通じて、いじめ問題や多様性について考える機会が増加したことが原因と考えます。	(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合 (%)</td><td>24.3</td><td>21.5</td><td>23.5</td><td>26.5</td><td>25.0</td><td>24.7</td></tr></tbody></table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	割合 (%)	24.3	21.5	23.5	26.5	25.0	24.7	
		項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04													
割合 (%)	24.3	21.5	23.5	26.5	25.0	24.7															

基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

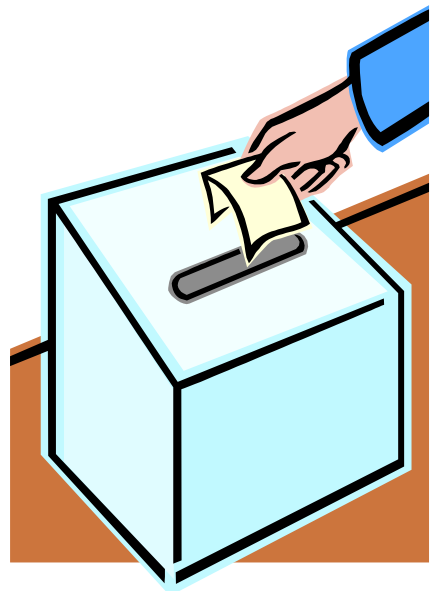
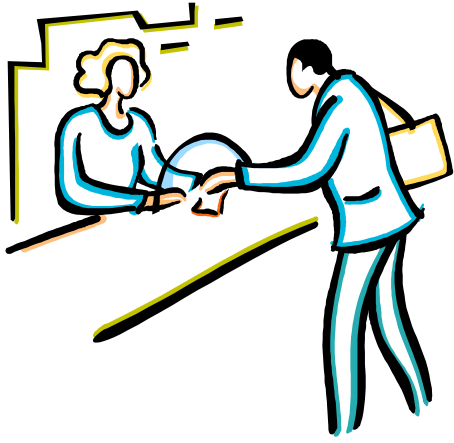
指標②	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値														
	【市民自治支援課】	%	10.5	8.5	11.3	10.5															
評価	<状況> この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合は11.3%で、基準値と比較し0.8ポイント増加し、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 人権侵害をするような言動や行動をしたと回答した割合が高い世代が10代から60代前半の世代であることから、コロナ禍での生活から通常の社会生活に戻ったことで、学校や職場などで他人と直接接する機会が増加したことが原因であると考えます。	(%)  <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>10.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>11.3</td></tr><tr><td>R01</td><td>9.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>8.0</td></tr><tr><td>R03</td><td>8.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>11.3</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	10.5	H30	11.3	R01	9.3	R02	8.0	R03	8.5	R04	11.3	(横ばい) 対前年度  (横ばい) 達成状況  (中)
							項目	値													
基準	10.5																				
H30	11.3																				
R01	9.3																				
R02	8.0																				
R03	8.5																				
R04	11.3																				

基本事業03 男女共同参画の推進

指標①	審議会などに女性委員が登用されている割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【企画政策課】	%	23.5	25.7	27.3	33.3	☀														
評価	<状況> 審議会などに女性委員が登用されている割合は27.3%で、基準値と比較して3.8ポイント増加しましたが、めざそう値の33.3%に届きませんでした。 <原因> 本計画期間では女性登用割合は増加傾向にありますが、性別的役割における意識の解消は着実に進んでいると考えられますが、推薦団体に女性委員が少ないことから女性候補者が選ばれにくいほか、公募制の導入が少ないなどの状況が依然としてあり、女性委員の登用割合が伸び悩む原因として考えられます。	(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合 (%)</td><td>23.5</td><td>23.5</td><td>22.5</td><td>25.7</td><td>25.7</td><td>27.3</td></tr></tbody></table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	割合 (%)	23.5	23.5	22.5	25.7	25.7	27.3	☀ (向上) 対前年度
							項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04								
割合 (%)	23.5	23.5	22.5	25.7	25.7	27.3															
							☀ (向上) 達成状況														
							■ (中)														

基本事業03 男女共同参画の推進

指標③	男性が家事・育児に積極的に参加している割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																
	【企画政策課】	%	40.1	36.8	35.5	45																	
評価	<状況> 男性が家事・育児に積極的に参加していると思う割合は35.5%で、基準値と比較して4.6ポイント下回り、めざそう値に届きませんでした。 <原因> 男性が家事・育児に積極的に関わることを推進するため、パパママサロンや子育て講座等へ、男性の参加を促し意識啓発を行っています。他のアンケート結果からも個人の意識の向上は窺えますが、実態が伴っていない状況があるため、家庭内での意思疎通や職場等の社会的環境が整っていないことが要因と考えられます。	(%)<table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>40.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>39.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>39.0</td></tr><tr><td>R02</td><td>36.8</td></tr><tr><td>R03</td><td>36.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>35.5</td></tr><tr><td>めざそう値 (R04)</td><td>45.0</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	40.1	H30	39.5	R01	39.0	R02	36.8	R03	36.8	R04	35.5	めざそう値 (R04)	45.0	 (横ばい) 対前年度
	項目	値																					
基準	40.1																						
H30	39.5																						
R01	39.0																						
R02	36.8																						
R03	36.8																						
R04	35.5																						
めざそう値 (R04)	45.0																						
価値							 (横ばい) 達成状況 (低)																



【政 策】

6 市民と行政が協働してつくるまちづくり

【施 策】

6-1 協働と交流によるまちづくり

6-2 開かれた市政とまちの魅力発信

6-3 計画的・効率的な行財政運営

6-4 公正確実な事務の執行

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

◆多様化する市民ニーズに対応したきめ細かいサービスの提供を行政が担う時代から支えあいと活気のある住民主体の協働による共助社会へと移行しつつあります。地域まちづくり協議会等を通じて、各種団体等が交流し、自らが課題解決をするまちづくりを推進します。

◆新型コロナウイルス感染症の影響により「市民活動（地域活動）に参加している市民の割合」、「市民活動に意欲的な市民割合」が減少傾向にあります。市民活動が途切れることのないよう更なる市民活動の活性化を図るため、市民活動団体の相互連携を深める機会を増やし、活動に参加しやすい環境整備に努めます。

◆近年、山武市においても外国人が増加していることから、在住外国人と地域の人々が、共に理解し、暮らしていけるまちづくりが必要です。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市民活動（地域活動）に参加している市民の割合（％）	成果	35	33.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
NPO・ボランティア活動をしている市民割合（％）	成果	12.2	12.1	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	区会、自治会加入率（％）	成果	69.9	68.9	☂ (低下)	☁ (横ばい)	
02	市民活動に意欲的な市民割合（％）	成果	39.8	36.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
02	市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合（％）	成果	92.6	83.6	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	市民活動支援施設の利用者数（人）	代替	29,483	42,586	☁ (横ばい)	☀ (向上)	○
03	活動場所に困っている市民活動団体の割合（％）	成果	15.1	18.2	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
04	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ 関連除く件)	成果	10	8	☂ (低下)	☂ (低下)	○
05	東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数（事業）	成果	3	-	---	---	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・NPO法人 ・市民活動団体 ・職員	・まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が活発に行われています。

施策の成果状況と評価

指標①	市民活動（地域活動）に参加している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																
	【市民自治支援課】	%	41.7	35	33.2	42	☂ (低下)																
評価	<状況> 市民活動（地域活動）に参加している市民の割合は33.2%で、基準値と比較して8.5ポイント下回り、めざそう値の42%にも届きませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の拡大で市民活動が開催されなくなったことや、活動主体の高齢化等により、活動自体が休止してしまう団体もあり、参加している市民が減少した原因と考えられます。	<table><caption>市民活動（地域活動）に参加している市民の割合 (%)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>41.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>35.0</td></tr><tr><td>R01</td><td>33.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>33.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>35.0</td></tr><tr><td>R04</td><td>33.2</td></tr><tr><td>めざそう値 (R04)</td><td>42.0</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	41.7	H30	35.0	R01	33.2	R02	33.2	R03	35.0	R04	33.2	めざそう値 (R04)	42.0	対前年度 ☁ (横ばい)
	項目	値 (%)																					
基準	41.7																						
H30	35.0																						
R01	33.2																						
R02	33.2																						
R03	35.0																						
R04	33.2																						
めざそう値 (R04)	42.0																						
						達成状況 ■■■ (低)																	

指標②	NPO・ボランティア活動をしている市民割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																
	【市民自治支援課】	%	19	12.2	12.1	20	☂ (低下)																
評価	<状況> NPO・ボランティア活動をしている市民割合は12.1%で、基準値と比較して6.9ポイント下回り、めざそう値の20%に届きませんでした。 <原因> コロナ禍の長期化により、ボランティア活動の機会の減少や行動様式の変化によって、活動への参加意識が低下したことが原因として考えられます。	<table><caption>NPO・ボランティア活動をしている市民割合 (%)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>19.0</td></tr><tr><td>H30</td><td>12.2</td></tr><tr><td>R01</td><td>12.1</td></tr><tr><td>R02</td><td>12.1</td></tr><tr><td>R03</td><td>12.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>12.1</td></tr><tr><td>めざそう値 (R04)</td><td>20.0</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	19.0	H30	12.2	R01	12.1	R02	12.1	R03	12.2	R04	12.1	めざそう値 (R04)	20.0	対前年度 ☁ (横ばい)
	項目	値 (%)																					
基準	19.0																						
H30	12.2																						
R01	12.1																						
R02	12.1																						
R03	12.2																						
R04	12.1																						
めざそう値 (R04)	20.0																						
						達成状況 ■■■ (低)																	

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 区・自治会活動の活性化

基本事業 02 市民活動の活性化

基本事業 03 市民活動施設の利用促進

基本事業 04 多文化共生社会の推進

基本事業 05 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進

基本事業02 市民活動の活性化

指標①	市民活動に意欲的な市民割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	45.4	39.8	36.2	48	☂ (低下)
評価	＜状況＞						
	＜原因＞	市民活動に意欲的な市民割合は36.2%で、基準値と比較して9.2ポイント下回り、めざそう値の48%に届きませんでした。 コロナ禍の長期化により、従来の活動が満足にできなかったことで、意欲的に市民活動に取り組む人々の意識が消極的な方へ向いていることが原因として考えられます。					

基本事業03 市民活動施設の利用促進

指標①	市民活動支援施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	人	44,066	29,483	42,586	45,000	☁ (横ばい)
評価	＜状況＞						
	＜原因＞	市民活動支援施設の利用者数は42,586人で、基準値と比較して1,480人下回り、めざそう値の45,000人に届きませんでした。 ワクチン接種や行動制限の緩和により、市民活動団体等の活動が徐々に回復している状況にありますが、生活様式の変化等により様々な活動への参加者の増加につながらなかったことが原因と考えられます。					

基本事業03 市民活動施設の利用促進

指標②	活動場所に困っている市民活動団体の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	23.8	15.1	18.2	23	☀ (向上)
評価	＜状況＞						
	＜原因＞	活動場所に困っている市民活動団体の割合は18.2%で、基準値と比較して5.6ポイント減少、昨年度と比較して3.1ポイント増加しましたが、めざそう値23.0%を達成しました。 コロナ禍を要因とする施設の利用制限の緩和が進んだことにより、利用施設に余裕が生じたことが原因と考えられます。					

基本事業04 多文化共生社会の推進

指標①	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ関連除く)	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	件	9	10	8	9	☂ (低下)
評価	＜状況＞						
	＜原因＞	多文化共生社会への行政・市民活動団体の取組数は8件で、基準値と比較して1件下回り、めざそう値の9件にも届きませんでした。 行政の手続きや生活上のルールを周知するために外国人用の生活ガイドブックを作成配布を開始するなど新しい取り組みも始めましたが、オリンピック関連で開始した事業が終了したことが減少となった要因です。					

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆株式会社ブランド総合研究所の地域ブランド調査によれば、山武市の認知度は1,000団体中997位（令和4年度現在）となっています。首都圏に位置し、成田国際空港に近接している立地メリットや、魅力ある地域資源のポテンシャルを発揮するため、市外から「山武市」を知ってもらえる集中的な情報発信体制を構築し、市の魅力を積極的に発信していきます。
- ◆広報誌や議会だよりの創意工夫に加え、新聞離れやインターネットメディアの普及等から、SNSを活用しながら、市政情報の伝達手段の多様化に取り組めます。
- ◆「市長への手紙」等の仕組みを通じて、市民と行政とが情報共有することにより相互理解を深めます。
- ◆ICTを活用した議会中継配信（平成28年9月運用開始）の周知等を通じ、議会への関心を高めていきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市政情報の提供の満足度 (%)	成果	85.2	84.7	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 (%)	成果	60.4	61	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合 (%)	成果	23	22.3	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	広報紙を読んでいる市民の割合 (%)	成果	91.8	90.8	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 (%)	成果	87.7	86	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	
01	市ホームページアクセス件数 (アクセス)	成果	400,468	316,750	---	☂ (低下)	
01	まちの魅力の各種メディア掲載件数 (件)	成果	144	172	☂ (低下)	☀ (向上)	○
02	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 (%)	成果	26.3	23.7	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	議会だよりを読んでいる市民の割合 (%)	成果	47.1	42.6	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	傍聴人数 (人)	成果	73	45	☂ (低下)	☂ (低下)	
03	議会インターネット中継アクセス件数 (件)	成果	2,003	1,793	☂ (低下)	☂ (低下)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
- 市民 - 行政 - 国民 - 職員	- 市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。 - 市民一人ひとりが「わがまち」に誇りを持ち、市外からも魅力が感じられています。

施策の成果状況と評価

指標①	市政情報の提供の満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【秘書広報課】	%	84.1	85.2	84.7	85	☀ (横ばい)
評価	<状況> 市政情報提供の満足度は84.7%で、基準値と比較して0.6ポイント増加、前年度と比較して0.5ポイント増加しましたが、めざそう値85%を達成できませんでした。 <原因> 本計画期間では、令和3年度から広報紙の市内全戸配布を開始したことや、市公式ライン等ICTを利用した情報発信に取り組みましたが、ICTを利用した市の行政情報サービスを利用したことがない市民の割合が約7割に上り、これら取り組みの周知不足も原因の一つと考えられます。						対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■■ (中)
指標②	多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【秘書広報課】	%	60.2	60.4	61	65	☀ (横ばい)
評価	<状況> 多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合は61.0%で、基準値より0.8ポイント向上し基準値を上回りましたが、めざそう値の65%には届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、インターネットを活用した広聴の取り組み方法が10歳代から20歳代までの学生において満足している割合が高くなっていますが、全世代に取り組み方法が浸透していないことが原因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■ (中)
指標③	山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【秘書広報課】	%	19.2	23	22.3	25	☀ (横ばい)
評価	<状況> 山武市の特徴や良い点を近隣の人に説明できる市民の割合は22.3%で、基準値と比較して3.1ポイント増加、前年度と比較して0.7ポイント減少し、めざそう値25%を達成できませんでした。 <原因> 全世代を通じ「説明できない」割合が高くなっています。市民アンケートの自由意見では、都心へのアクセス優位性や豊かな自然環境などが魅力として挙げられていますが、主にTwitterを利用した市外者向けの発信に注力したことで、市民目線の対応が十分ではなかったことが要因と考えられます。						対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■■ (中)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 情報発信力の充実

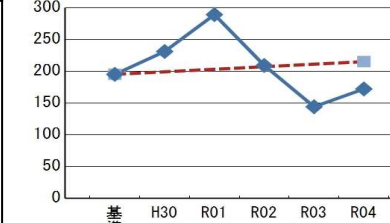
基本事業 02 広聴の充実

基本事業 03 議会情報の公開の推進

基本事業01 情報発信力の充実

指標①	広報紙を読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
		【秘書広報課】	%	88.1	91.8	90.8	90														
評価	<状況> 広報紙を読んでいる市民の割合は90.8%で、基準値と比較して2.7ポイント増加、前年度と比較して1ポイント減少しましたが、めざそう値90.0%を達成しました。 <原因> 本計画期間では、20歳代の読者が増加しており、原因としては令和3年度から開始した広報紙市内全戸配布が効果を上げているものと思われます。	(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>88.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>88.1</td></tr><tr><td>R01</td><td>91.8</td></tr><tr><td>R02</td><td>90.8</td></tr><tr><td>R03</td><td>91.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>90.8</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	88.1	H30	88.1	R01	91.8	R02	90.8	R03	91.8	R04	90.8	
		項目	値 (%)																		
基準	88.1																				
H30	88.1																				
R01	91.8																				
R02	90.8																				
R03	91.8																				
R04	90.8																				
							対前年度														
							(横ばい)														
							達成状況														
							(達成)														

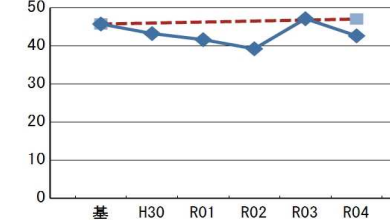
基本事業01 情報発信力の充実

まちの魅力の各種メディア掲載件数		単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
指標④	【秘書広報課】	件	195	144	172	215																						
評価	<状況> まちの魅力の各種メディア掲載件数は172件で、基準値と比較して23件減少、前年度と比較して28件増加しましたが、めざそう値の215件には届きませんでした。 <原因> 本計画期間のプレスリリース件数は、令和元年度38件・令和2年度46件・令和3年度34件・令和4年度37件で推移してます。令和元年度(基準値)と令和4年度のリリース件数に大差ない状況から、情報発信のスキルやブランディングに問題があると考えられます。	(件)  <table border="1"><caption>掲載件数の推移 (件)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>めざそう値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>195</td><td>200</td></tr><tr><td>H30</td><td>230</td><td>200</td></tr><tr><td>R01</td><td>280</td><td>200</td></tr><tr><td>R02</td><td>200</td><td>205</td></tr><tr><td>R03</td><td>144</td><td>210</td></tr><tr><td>R04</td><td>172</td><td>215</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	めざそう値	基準	195	200	H30	230	200	R01	280	200	R02	200	205	R03	144	210	R04	172	215	(低下)
		年度	実績値	めざそう値																								
基準	195	200																										
H30	230	200																										
R01	280	200																										
R02	200	205																										
R03	144	210																										
R04	172	215																										
							 (向上) 達成状況  (低)																					

基本事業02 広聴の充実

指標①	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値														
	【秘書広報課】	%	26.8	26.3	23.7	33															
評価	<状況> 市民の声が市政に届いていると思う市民の割合は23.7%で、基準値と比較して3.1ポイント減少し、めざそう値の33%には届きませんでした。 <原因> 市民から市長への手紙制度により、これからのまちづくりに向けた建設的な意見や提案をいただいております。しかし、本計画期間では、多岐にわたる意見等のうち、要望や苦情等が多く、市の施策や事務の改善に結びつけることができた意見・提案は少数であったことが主な要因として考えられます。	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>26.8</td></tr><tr><td>H30</td><td>26.3</td></tr><tr><td>R01</td><td>26.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>26.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>23.7</td></tr><tr><td>R04</td><td>23.7</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	26.8	H30	26.3	R01	26.3	R02	26.3	R03	23.7	R04	23.7	(横ばい)
		項目	値																		
基準	26.8																				
H30	26.3																				
R01	26.3																				
R02	26.3																				
R03	23.7																				
R04	23.7																				
値							対前年度														
							(横ばい)														
							達成状況														
							(低)														

基本事業03 議会情報の公開の推進

指標①	議会だよりを読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値(R03)	実績値(R04)	めざそう値(R04)	対基準値														
	【議会事務局】	%	45.7	47.1	42.6	47															
評価	<状況> 議会だよりを読んでいる市民の割合は42.6%で、基準値と比較して3.1ポイント減少、前年度と比較して4.5ポイント減少し、めざそう値47%に届きませんでした。 <原因> 議会だよりは、市民の議会への関心を高めるために重要なものと考えますが、議会だよりを読んでいる割合は、年代により大きく差があり、特に現役世代の割合が低く、議会への関心度の低さが、読者の減少に繋がったと思われます。引き続き、読みやすく分かりやすい紙面づくりを検討し、議会だよりの普及を図っていきます。	(%)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>45.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>45.7</td></tr><tr><td>R01</td><td>47.1</td></tr><tr><td>R02</td><td>42.6</td></tr><tr><td>R03</td><td>42.6</td></tr><tr><td>R04</td><td>42.6</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	45.7	H30	45.7	R01	47.1	R02	42.6	R03	42.6	R04	42.6	(横ばい)
		項目	値																		
基準	45.7																				
H30	45.7																				
R01	47.1																				
R02	42.6																				
R03	42.6																				
R04	42.6																				
							対前年度														
																					
							(横ばい)														
							達成状況														
																					
							(低)														

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の
基本方針
及び
施策の
環境変化と
課題

◆権限移譲や人口減少等の影響から職員一人ひとりの事務量増加が見込まれる中、行政評価の仕組みを活用することで、費用対効果の高い事業への資源配分を推進し、結果重視の行政経営を一層推進する必要があります。

◆年金の支給開始年齢の段階的引き上げによる職員の定年延長や再任用制度、地方公務員法の改正による人事評価結果の処遇反映や会計年度任用職員制度等に対応した、組織運営が必要です。

◆普通交付税の合併算定替期間が終了し一本算定となったことから、歳入歳出のバランスの適正化を推進する必要があります。

◆公共施設等の適正化や老朽化に対応するため、令和2年度末に策定した個別施設計画を踏まえ、令和3年度に公共施設等総合管理計画の改訂を行いました。

◆市民サービスの向上や労働人口の減少が進むなかで多様化する行政ニーズに対応するため、自治体DX（行政事務のデジタル改革）が求められています。

◆令和4年12月23日にデジタル田園都市国家構想総合戦略が閣議決定され、地方公共団体も地方版総合戦略を改定する必要があります。

◆全国銀行協会が2024年10月から自治体からの送金に手数料を新たに適用すると表明したことから、振込件数の削減を含む会計処理の改革を推進する必要があります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
施策の目標達成率（％）	成果	42.5	37.5	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	基本事業の目標達成率（％）	成果	39.6	40.6	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
01	PDCAサイクルを意識している職員の割合（％）	成果	55.5	53.9	☀ (向上)	☂ (低下)	
02	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合（％）	成果	69.1	74.7	☀ (向上)	☀ (向上)	
02	能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合（％）	成果	77.1	78.9	☁ (横ばい)	☀ (向上)	
02	研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合（％）	成果	93.7	98.2	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	経常収支比率（％）	成果	89.4	93.4	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	実質公債費比率（％）	成果	6.6	5.8	☀ (向上)	☀ (向上)	
03	経常経費に占める一般財源の割合（％）	成果	78.47	78.26	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	
04	市税収納率（％）	成果	98	97.89	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
05	市保有の土地活用率（％）	成果	49.1	54.6	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	公共施設維持管理費（万円）	成果	165,221	179,298	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
06	市のITサービスを利用している市民割合（％）	成果	46.5	46.2	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
06	主要情報システムの予期せぬ停止時間（年間）（時間）	成果	0	4	☂ (低下)	☂ (低下)	

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 03 計画的・効率的な行財政運営

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
- 行政 - 市民	計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われています。

施策の成果状況と評価

指標①	施策の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値																																				
	【企画政策課】	%	29.1	42.5	37.5	60	☀ (向上)																																				
評価	<状況> 施策の目標達成度は37.5%で、基準値を8.4ポイント上回りましたが、めざそう値60.0%には22.5ポイント届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、新型コロナウイルス感染症の影響により、行動制限がされ、事業の実施に大きな制限がかかったことや、それに続く物価高騰による社会不安が拡大したことが指標が伸び悩んだ要因と考えられます。次期計画では、注力する重点分野に産業関連の施策が多くあり、健全な財政運営を図りつつ、産業振興に努めていきます。			(%) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値 (R03)</th><th>実績値 (R04)</th><th>めざそう値 (R04)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>29.1</td><td></td><td></td><td>29.1</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R01</td><td></td><td>37.5</td><td>42.5</td><td>42.5</td></tr><tr><td>R02</td><td></td><td>37.5</td><td>37.5</td><td>42.5</td></tr><tr><td>R03</td><td></td><td>42.5</td><td>42.5</td><td>42.5</td></tr><tr><td>R04</td><td></td><td>37.5</td><td>37.5</td><td>60.0</td></tr></tbody></table>				年度	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	基準	29.1			29.1	H30					R01		37.5	42.5	42.5	R02		37.5	37.5	42.5	R03		42.5	42.5	42.5	R04		37.5	37.5	60.0	対前年度 ☁ (横ばい)
								年度	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)																															
基準	29.1			29.1																																							
H30																																											
R01		37.5	42.5	42.5																																							
R02		37.5	37.5	42.5																																							
R03		42.5	42.5	42.5																																							
R04		37.5	37.5	60.0																																							
							達成状況 ■■ (中)																																				

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 行政経営の推進

基本事業 02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 03 健全な財政運営

基本事業 04 税収の確保

基本事業 05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

基本事業 06 情報化の推進と適正管理

基本事業01 行政経営の推進

指標①	基本事業の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	35.6	39.6	40.6	70	☀️ (横ばい)
評価	<状況> 令和4年度の基本事業の目標達成率は40.6%で、基準値と比較して5.0ポイント向上しましたが、めざそう値の70.0%には、29.4ポイント届きませんでした。 <原因> 本計画期間では、事業を継続して実施することで、市全体として達成度は向上傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、指標値が減少した事業があり、回復傾向にはあるものの、コロナ禍前の水準まで回復していないことがめざそう値を達成できなかった要因であると考えられます。						☀️ (横ばい)
		(%)					☀️ (横ばい)

基本事業03 健全な財政運営

指標①	経常収支比率	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【財政課】	%	91	89.4	93.4	90	☔️ (低下)
評価	<状況> 令和4年度の経常収支比率は93.4%で、基準値と比較して2.4ポイント増加し、めざそう値を達成できませんでした。 <原因> 物価高騰による物件費の増加や、大型事業分の償還開始による公債費の増加などにより、経常的支出が増加したため、経常収支比率は上昇しました。						☔️ (低下)
		(%)					☔️ (低下)

基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標②	公共施設維持管理費	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【財政課】	万円	192,225	165,221	179,298	192,000	☀️ (向上)
評価	<状況> 公共施設維持管理費は179,298万円で、基準値と比較して12,927万円減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、小中学校への1人1台端末導入などの事業実施に伴い、年度ごとに公共施設維持管理費の増減は見られますが、閉校した学校跡地の貸付を行うなど、市が維持管理を行う公共資産の総量適正化を図ったことが、公共施設維持管理費の軽減につながった要因と考えられます。						☀️ (向上)
		(万円)					☀️ (向上)

基本事業06 情報化の推進と適正管理

指標①	市のICTサービスを利用している市民割合	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	%	28	46.5	46.2	31	☀️ (向上)
評価	<状況> 市のICTサービスを利用している市民割合は46.2%で、基準値と比較して18.2ポイント増加、前年度と比較して0.3ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 <原因> スマートフォンの普及や台風等災害情報の提供により、ホームページやSNS（市公式Twitter・市公式LINEなど）の利用、安心安全メールの登録が増えたため上昇したと考えられます。						☀️ (向上)
		(%)					☀️ (向上)

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 04 公正確実な事務の執行

施策の基本方針（環境変化と課題）

施策の 基本方針 及び 施策の 環境変化と 課題

- ◆地方自治体の業務が多様化、高度化する一方で、引き続き、市民に対して不安や誤解を与えない正確な事務執行と会計処理を行っていく必要があります。このため、職員誰もが公正で確実な行政サービスを提供できるよう取り組みます。
- ◆選挙権が18歳以上に引き下げられましたが、依然として投票率の向上が見られないことから、若い世代を中心に選挙に関心を持ってもらうための啓発活動を行い、併せて選挙事務の効率化に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
公正確実な事務の執行の満足度（％）	成果	74.6	72.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R03実績	R04実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	口座振替支払期日における支払不能件数（件）	成果	34	43	☀ (向上)	☂ (低下)	○
02	市政投票率（市長）（％）	成果	—	34.9	☂ (低下)	☂ (低下)	○
02	市政投票率（市議）（％）	成果	—	—	---	---	
03	監査による指摘事項などの措置率（％）	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	不服申立による変更件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	個人情報の漏洩件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
05	窓口サービスの満足度（％）	成果	82.9	84.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
06	不服申立等により課税誤りになった件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○

※掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 04 公正確実な事務の執行

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
- 市民 - 職員	職員のだれもが、公正で確実な行政サービスを提供できます。

施策の成果状況と評価

指標①	公正確実な事務の執行の満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【総務課】	%	81.9	74.6	72.2	82	☂ (低下)														
評価	<状況> 公正確実な事務の執行の満足度は72.2%で、基準値と比較して9.7ポイント減少し、めざそう値の82.0%に届きませんでした。 <原因> 本計画期間を通して、文書管理や個人情報保護の研修実施等により、職員の事務執行能力の維持・向上を図ってきましたが、アンケートの結果では、年代が上がるにつれ満足度は低下し、特に70歳代以上では61.2%となり、高齢者向けの施策が制度上複雑なものが多く、理解しづらいものとなっていることに原因があると考えられます。			(%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>満足度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>81.9</td></tr><tr><td>H30</td><td>74.6</td></tr><tr><td>R01</td><td>72.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>72.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>72.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>72.2</td></tr></tbody></table>			年度	満足度 (%)	基準	81.9	H30	74.6	R01	72.2	R02	72.2	R03	72.2	R04	72.2	対前年度 ☁ (横ばい)
							年度	満足度 (%)													
基準	81.9																				
H30	74.6																				
R01	72.2																				
R02	72.2																				
R03	72.2																				
R04	72.2																				
							達成状況 ■■■ (低)														

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

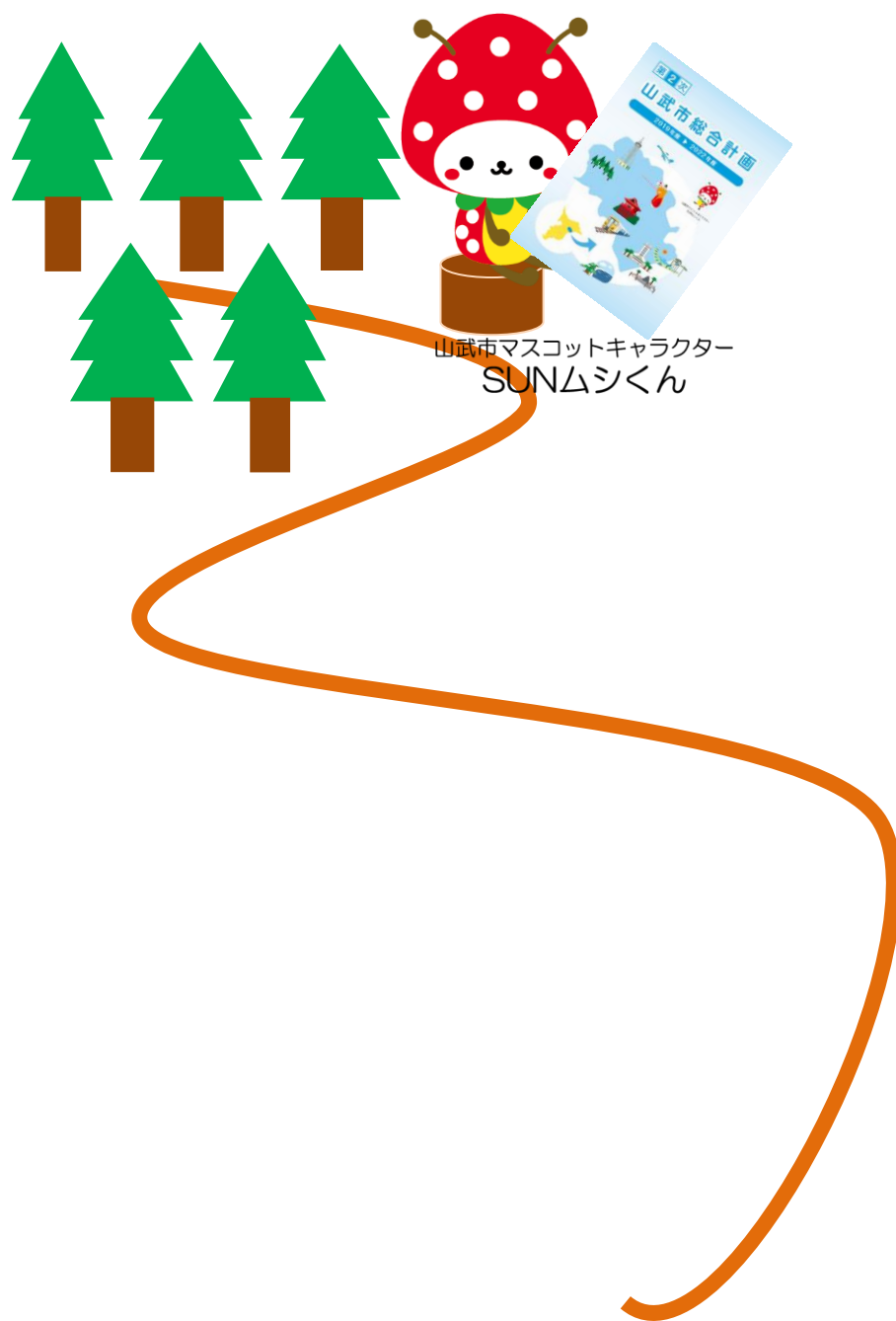
基本事業 01	適正な会計処理
基本事業 02	積極的な選挙啓発
基本事業 03	監査の充実
基本事業 04	情報公開及び個人情報保護の推進
基本事業 05	窓口サービスの向上
基本事業 06	公平・公正な課税

指標 ①	口座振替支払期日における支払不能件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
	【会計課】	件	48	34	43	43	☀ (向上)																					
評価	<状況> 口座振替支払期日における支払不納件数は43件で、基準値と比較して5件減少、前年度と比較して9件増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、振込不納返却報告書が随時ファックスで連絡され、所管部署が正当な債権者情報を確認する時間が多く取れるようになり、口座振込支払期日に同日振込が行われたことが要因と考えられます。	(件) <table border="1"> <caption>支払不納件数推移表</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績値</td> <td>48</td> <td>34</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>めざそう値</td> <td>-</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	実績値	48	34	43	43	43	43	めざそう値	-	43	43	43	43	43	☀ (向上) 対 前年度 ☂ (低下) 達成 状況 🏰 (達成)
	項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04																					
実績値	48	34	43	43	43	43																						
めざそう値	-	43	43	43	43	43																						

指標 ①	市政投票率（市長）	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【選挙管理委員会事務局】	%	—	—	34.9	50	
評 価	＜状況＞ 令和4年4月17日執行の山武市長選挙の投票率は34.9%で、前回と比較して13.2ポイント減少しました。 ＜原因＞ 選挙公報を従前の紙による配布に加えて市ホームページに掲載する等、啓発に努めました。しかしながら、今回の市長選挙は現職が2期目をめざす選挙であり、候補者も山武地区・成東地区からそれぞれ1名、併せて執行した市議会議員補欠選挙については山武地区から2名と偏りがみられたことから、有権者の関心が低調であったことが要因と考えられます。						(低下) 対 前年度 (低下) 達成 状況 (低)

指標 ①	窓口サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【市民課】	%	82.4	82.9	84.7	84	対 前年度														
評価	<状況> 窓口サービスの満足度は84.7%で、基準値と比較して2.3ポイント増加、前年度と比較して1.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 本計画期間では、休日窓口の開設やマイナンバーカード等を利用したコンビニ交付が普及し、サービスの利便性を感じる割合が増えたためと考えられます。	<table border="1"> <caption>窓口サービスの満足度推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>82.4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>84.7</td> </tr> </tbody> </table>					年度	満足度 (%)	基準	82.4	H30	82.9	R01	82.9	R02	82.9	R03	82.9	R04	84.7	達成状況 達成
年度	満足度 (%)																				
基準	82.4																				
H30	82.9																				
R01	82.9																				
R02	82.9																				
R03	82.9																				
R04	84.7																				

指標①	不服申立等により課税誤りになった件数	単位	基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【課税課】	件	0	0	0	0	
評価	＜状況＞ 不服申立等による課税の更正件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 本計画期間では、課税客体を的確に把握し、適正な賦課が実施されたためです。	(件)					(向上) 対前年度 (向上) 達成状況 (達成)



山武市マスコットキャラクター
SUN△シくん

山武市まちづくり報告書
令和5年11月
発行／山武市
編集／総合政策部企画政策課
〒289-1392 千葉県山武市殿台 296 番地
TEL : 0475-80-1132